大分県観光ガイドブック



おんせん県に

来ちゃいましたけん！

過ごした分だけ、おんせん県が好きになる。
“最幸（さいこう）”な時間を楽しむ旅。



大分県の温泉がスゴイ理由！

大分県は、温泉の源泉数・湧出量ともに全国一位を誇ります。
でも、スゴイのは数と量だけではありません！
いろんな温泉のスゴイが詰まった、
まさに〝日本一のおんせん県おおいた〟なのです。
温泉に浸かって、美味しいグルメを堪能して、
話題のスポットに出かける…。
ぜひ、大分県を満喫してください。

1 源泉数・湧出量 日本一！

大分県は、温泉の源泉数・湧出量ともに全国一位を誇ります！

源泉数

1位 大分県 5,102
2位 鹿児島県 2,751
3位 北海道 2,215

湧出量

1位 大分県 298,416l/分
2位 北海道 197,557l/分
3位 鹿児島県 174,500l/分
※環境省HPより
（令和2年度温泉利用状況）

2 泉質の数がスゴイ！

大分県内には、療養泉の部類では全10種類ある泉質のうち、8種類が存在。「大分県に来れば、世界中にある温泉地に行ったのと同じ」と言われています。

＜大分県に存在する泉質＞

単純温泉・塩化物泉・炭酸水素塩泉・硫酸塩泉・二酸化炭素泉・含鉄泉・酸性泉・硫黄泉

3 飲んでも効く大分の湯

温泉療養の一つとして、温泉を飲む「飲用」があります。飲用泉の適応症は、泉質により胃腸機能系、代謝機能系、造血機能系の3つに大別されます。大分県には、公共利用の飲用に許可されている温泉（飲用泉）が約140施設もあります。

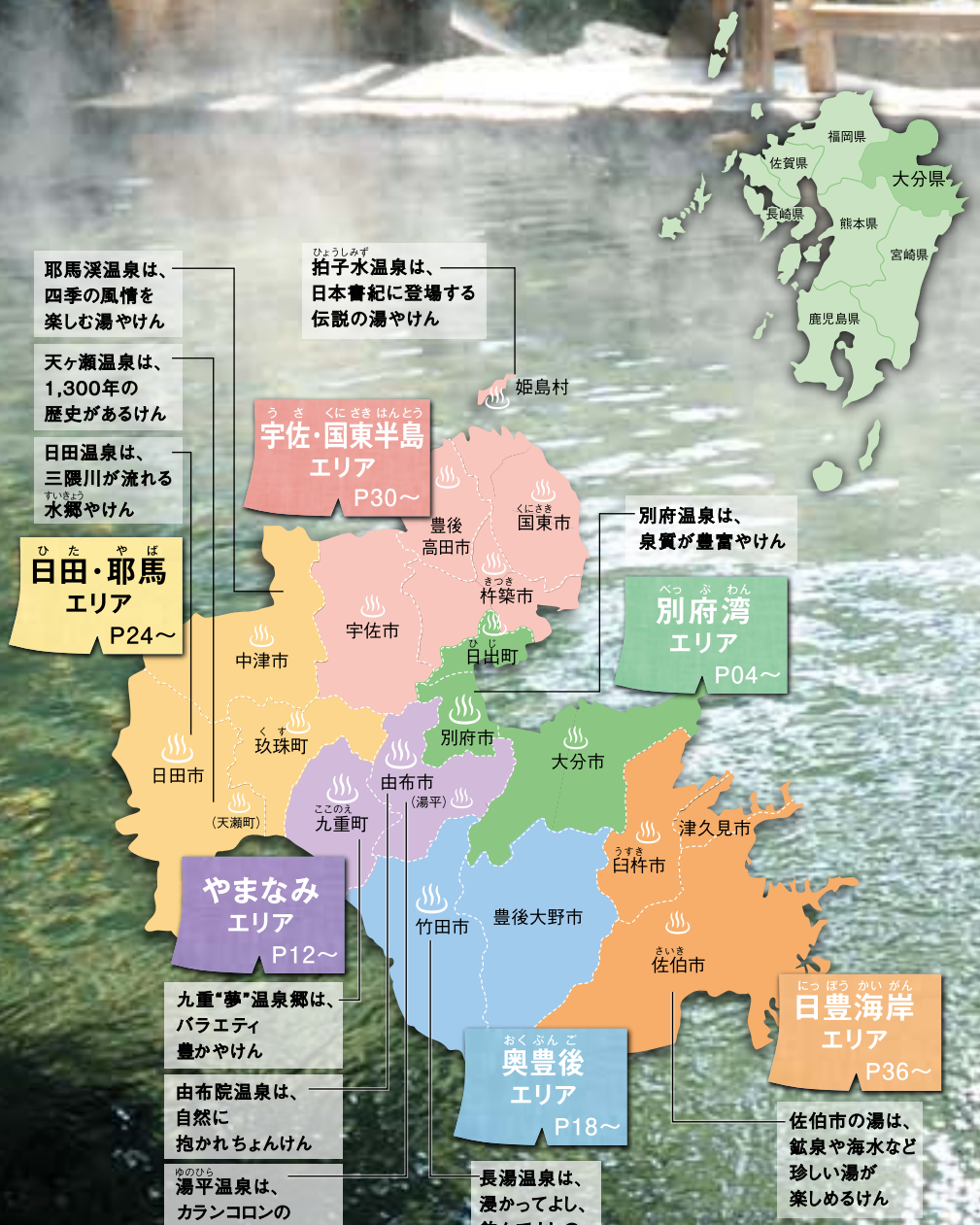
※参考文献：「おんせん県おおいたの飲泉スポット30調査本」（公益社団法人大分県薬剤師会 発行）

4 全国的にも珍しい高濃度炭酸泉

長湯温泉には、全国におよそ3,100ヵ所ある温泉地のうち、わずか0.6%しか存在しない「炭酸泉」が湧いています。温泉に炭酸ガスが溶け込んだ湯は、血行促進と美肌効果があり、女性に人気です。

5 湯治文化

大分県では、温泉地に長期滞在をして、療養を行う「湯治文化」が根強く残っています。別府市にある鉄輪温泉には、自炊もできる宿が点在します。また竹田市では、温泉を楽しみながら健康になる「竹田式湯治」（P19）を提案しています。





日出温泉（写真：ホテルソラージュ大分・日出）
自慢の露天風呂からは、別府湾が一望できて開放感バツグン！



明礬温泉（写真：明礬 湯の里）
標高約350mの高台に位置する温泉。硫黄の香り漂う乳白色の湯は、肌がスベスベになると評判！

朝から晩まで温泉めぐりを楽しむ

別府市には、別府・明礬・鉄輪・浜脇・亀川・観海寺・堀田・柴石の個性豊かな8つの温泉郷があり、総称して「別府八湯」と呼ばれています。全10種類ある泉質のうち、7種類が存在しており、異なる泉質を組み合わせて入浴することで、相乗効果を期待する入浴方法〝機能温泉浴〟なども楽しむことができます。

また、天候によってお湯の色が変わる温泉や、蒸し湯、泥湯、砂湯などバラエティに富んだ温泉が満載です。思う存分、温泉を満喫できます。

チューモク 「地獄蒸し」を体験しよう！

魚介類や野菜をミネラル豊富な温泉の噴気で蒸し上げると、極上の旨さに大変身！「地獄蒸し工房鉄輪」で気軽に体験できます。
（詳細はP06）



「機能温泉浴」で温泉効果倍増！

異なる泉質を組み合わせて入浴することで、その相乗効果を期待する「機能温泉浴」。多くの泉質が点在する別府だからこそ体験できる入浴方法です。ツルツル美肌を目指すなら、明礬温泉の〝硫黄泉〟で毛穴の汚れをスッキリ落とした後、鉄輪温泉の〝メタケイ酸〟を多く含む温泉でしっかり保湿するのがおすすめ。遠赤外線効果のある〝砂湯〟や、香りのよい薬草効果で新陳代謝がアップする〝むし湯〟はダイエット効果が期待できそう!!



鉄輪むし湯

お土産

温泉ミスト（別府市）
源泉を使った化粧水。温泉効果を自宅で実感！



別府つげ細工（別府市）
洗練された匠の技が光る伝統工芸品。



城下かれい箸置き（日出町）
城下かれいをモチーフにしたお皿や湯のみなどもあり。



生ちりめん料理（別府市・日出町）
獲れたての生ちりめんが味わえるのは、ちりめんの産地・別府湾ならでは。



城下かれい（日出町）
海水と真水が混じる特殊な海域で育ち、淡白ながらも甘みがあり「天下の美味」と称される。



別府冷麺（別府市）
弾力のある麺やのど越しの良い麺など、店によって麺やスープに特徴あり。





別府湾エリア

大分市・別府市・日出町

温泉が息づくまちでおんせん県民になる！



別府温泉（写真：竹瓦温泉）　明治12年創業。唐破風造（からはふづくり）の屋根で、別府温泉を代表する下町の湯。



JRおおいたシティ
ファッションや雑貨、インテリアのショップ、レストランなどが集まる商業施設。屋上露天風呂「CITY SPA てんくう」（P06）や「JR九州ホテルブラッサム大分」もあり、買って、遊んで、和んで、楽しめる充実のラインナップ。



関あじ・関さば（大分市）
身がしまり、弾力のある歯ごたえがたまらない。さばを刺身で食べられるのも大分の自慢。



だんご汁（大分市・県内各地）
こねて細長く伸ばしただんごと、たっぷりの野菜が入った大分を代表する郷土料理。



とり天（大分市・別府市）
天ぷらの衣をつけ、カラリと揚がった鶏肉を、かぼすポン酢とカラシで召し上がれ。

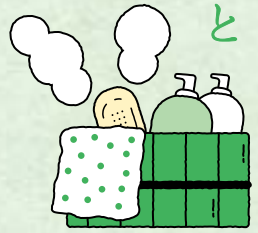
大分の魅力をサクッと楽しむコース

人気の観光地をはじめ、温泉、情緒あふれる城下町を散策しましょう。

由布市へ ← 車で約40分 ← 日出城下町散策 ← 車で約20分 ← 別府泊 ← 車ですぐ ← 鉄輪散策 ← 車で約20分 ← 高崎山

日出の歴史情緒に触れる
日出藩主お膝元の城下町として発展し、今もなお、往時を偲ばせる史跡が数多く残る日出城下町。江戸時代の情緒が感じられる街並みをのんびり散策しよう。

浸かるだけじゃない！温泉体験
湯治場の面影残るレトロな温泉街。江戸時代以前から続く「地獄蒸し料理」を味わった後は、デトックス効果抜群の「むし湯」や別府ならではの「地獄めぐり」（P11）を楽しもう！



的山荘（てきざんそう）



豪華邸宅で味わう季節の料理

明治・大正の時代、金山採掘で財を成した成清博愛（なりきよひろえ）の旧邸宅で、国の重要文化財に指定されています。邸宅内では、城下かれいをはじめ、季節の食材を使った料理が味わえます。ちょっぴり贅沢なランチはいかが。

住 日出町2663
電 0977-72-2321
営 10:00～22:00（夜は要予約）
休 なし

日出城址（ひじじょうし）



別府湾を一望する潮風香る城跡

慶長7年（1602）豊臣秀吉の妻、ねねの甥である初代藩主木下延俊（きのしたのぶとし）が築城。本丸跡からは別府湾が一望できます。瀧廉太郎（たきれんたろう）や帆足萬里（ほあしばんり）の銅像、復元された鬼門櫓などがあります。

住 日出町2610-1
電 0977-72-4255（ひじ町ツーリズム協会）

地獄蒸し工房鉄輪（かんなわ）



温泉の蒸気でおいしさアップ

温泉の蒸気で蒸すから、ほんのりと塩味がつき、素材の旨みがギュッと凝縮。海鮮、野菜などを入れて召し上がれ。

住 別府市風呂本5組 電 0977-66-3775
営 9:00～21:00（最終受付20:00）
休 第3水曜（祝日の場合はその翌日）

国立公園 高崎山自然動物園



野生のニホンザルが生息

柵がないため、自然の状態で野生ザルを観察することができます。イモを取り合う姿が笑いを誘う餌付けタイムは必見です！

住 大分市神崎3098-1
電 097-532-5010
営 9:00～17:00
休 年に数日程度、臨時休園あり

今市石畳（いまいち）

大分市

往時の大名行列を想像させる貴重な石畳



肥後藩細川氏や竹田岡藩中川氏が参勤交代で使用した道。幅約8.5mの道の中央に、整然と並べられた石が幅約2m、全長約660mにもわたって敷き詰められている。

住 大分市大字今市
電 097-588-1111
（大分市野津原支所）

大分県立美術館（OPAM）（オーパム）

大分市

出会いと五感のミュージアム



世界的な建築家・坂 茂氏が設計。フリースペースには実際に触ることのできるアート作品も並び、気軽に立ち寄れる一方、魅力あふれる企画展を開催する。

住 大分市寿町2-1 電 097-533-4500
営 10:00～19:00（金・土～20:00）
※入館は閉館の30分前まで
休 なし（設備点検等による臨時休館あり）

関崎海星館（せきざきかいせいかん）

大分市

天体観測で宇宙の神秘を体感！



夜は反射望遠鏡で月や惑星、星雲など、昼は太陽望遠鏡で太陽や黒点の観察ができる。令和4年5月中旬から令和5年夏頃（予定）までリニューアル工事のため一時休館。リニューアル後はプラネタリウムを設置予定。

住 大分市大字佐賀関4057-419
電 097-574-0100（休館中は097-537-5649）
営 月・水・木10:00～18:00／金・土・日・祝日・夏休み10:00～22:00
休 火曜（火曜が祝日の場合はその翌平日）・夏休み期間中は無休

CITY SPA てんくう（シティスパ）

大分市

地上80mからの大パノラマチナカでリフレッシュ！



地下700mから地上80mの高さまで汲み上げた天然温泉に浸かりながら、大分市の豊かな海と山の大パノラマが楽しめる。

住 大分市要町1番14号JRおおいたシティ19-21F
電 097-513-2641 営 11:00～24:00
休 年に数回メンテナンスのため休館あり

大分市歴史資料館

大分市

いにしえから現代まで、大分がたどった道を知る



奈良時代の豊後国分寺跡に隣接した資料館。旧石器時代～大友氏を中心とした時代～現代までの大分の歴史を学ぶことができ、歴史体験講座もある。

住 大分市国分960-1
電 097-549-0880
営 9:00～17:00（入館は16:30まで）
休 月曜（祝日の場合はその翌日）、年末年始（12/28～1/4）
※第1月曜は開館し、翌日の火曜が休館（ただし、特別展会期中の火曜は開館）

大分市美術館

大分市

大分で生まれた芸術作品を堪能できる



国指定重要文化財の田能村竹田や高山辰雄など大分にゆかりがある作家の作品を3,000点以上所蔵。企画展示室で年数回の特別展も開催する。

住 大分市大字上野865
電 097-554-5800
営 10:00～18:00（入館は、17:30まで）
休 月曜（祝日・休日の場合はその翌日）、年末年始（12/28～1/4）
※第1月曜は開館し、翌日の火曜が休館（ただし、特別展会期中の火曜は開館）

田ノ浦ビーチ

大分市

遊泳にも浜辺の散策にも最適なビーチ



市内で唯一の海浜を生かした総合公園で、あの「恋人の聖地」にも認定されている。レストハウスや帆船の大型遊具「カピタン号」、沖に浮かぶ人工島、軽スポーツ等が楽しめる「T-Wave」などの施設がある。

住 大分市大字神崎4253外
電 097-537-5976
（大分市公園緑地課）
営 9:00～23:30

大分マリーンパレス水族館「うみたまご」

大分市

みんなで楽しめるショーがたくさん



生命の起源である海にふれ、楽しみながら学べる水族館。セイウチやイルカなどのショーは家族みんなで楽しめる。自然に近い状態で動物たちと思い切りふれ合える「あそびーち」は子供たちに大人気。

住 大分市高崎山下海岸
電 097-534-1010
営 9:00～17:00 ※GW、夏休み、お盆期間は変更の場合あり
休 不定休（年に2日程度メンテナンスのため休館）

志高湖（しだかこ）

別府市

由布・鶴見の秀峰を望む風光明媚な湖

標高600mの高原に位置し、周囲2kmが緑に囲まれた竜神伝説の残る湖。白鳥や鯉が泳ぎ、ボートや散歩を楽しめる。周辺はキャンプ場としてシーズン中は多くの人でにぎわう。



住 別府市大字志高4380-1
電 0977-25-3601（志高湖キャンプ場）

別府ロープウェイ

別府市

四季折々に楽しめる眼下の景観

標高1,375mの鶴見岳山上まで約10分で結ぶロープウェイ。くじゅう連山や四国まで望む大パノラマや桜、紅葉、霧氷などが美しい。



住 別府市大字南立石字寒原10-7
電 0977-22-2278
営 9:00～17:00（11/15～3/14は9:00～16:30）
休 悪天候時・整備点検時

大分元町石仏

大分市

岩肌に刻まれた大分を代表する磨崖仏

上野丘台地の凝灰岩の崖に刻まれた磨崖仏で、11世紀後半から末の作と考えられる。高さが約3mある薬師如来像は県下でも代表的な磨崖仏で、国指定史跡になっている。



住 大分市元町2-25
電 097-537-5639（大分市文化財課）

吉野梅園

大分市

複数の種類が咲き乱れる梅の名所

幹や枝が地をはう様が、地に臥した龍を連想させる「臥龍梅（がりゅうばい）」をはじめ、「豊後梅」や「寒紅梅（かんこうばい）」など様々な種類の梅の木・約400本が2月下旬から3月上旬にかけて見ごろを迎える。



住 大分市杉原537
電 097-537-5976（大分市公園緑地課）

大分香りの博物館

別府市

優雅で奥深い「香り」の世界を楽しめる

膨大な数の香水コレクションとともに、香りの歴史を学ぶことができる。またオリジナル香水作りやアロマ体験も人気。



住 別府市北石垣48-1
電 0977-27-7272
営 10:00～18:00
休 12月31日、1月1日～3日

神楽女湖（かぐらめこ）

別府市

伝説と花しょうぶに彩られる山間の湖

鶴見岳社の歌舞女が住んでいたといわれるなど、伝説につつまれた周囲1kmほどの湖。色とりどりの花しょうぶが咲き誇る。花しょうぶは毎年6月中旬から7月上旬が見ごろ。



住 別府市大字神楽女5106-1
電 0977-21-1128（別府市観光課）

徳応寺（とくおうじ）

大分市

幕末期の偉人が訪れた寺

佐賀関は坂本龍馬が初めて上陸した九州の地。長崎へ向かう龍馬や勝海舟らが上陸した時の様子や、宿泊した記録が残っている「日本人物誌」を見ることができる。（事前要連絡）



住 大分市大字佐賀関2126
電 097-575-0085

亀塚古墳

大分市

古墳文化へタイムスリップ 昔のムラが見えてくる

豊後水道で活躍した海部の王の墓で、県下最大級の前方後円墳。隣接する「海部古墳資料館」では、九州最大規模のジオラマで当時のムラの生活などが学べる。国指定史跡。



住 大分市大字里646-1（海部古墳資料館）
電 097-524-2300

湯けむり展望台

別府市

泉都が誇る湯けむり景観を眺めよう

この展望台から見渡すことのできる湯けむりのある風景は、平成22年に「日本夜景遺産」に認定された。またその景観は、文化財保護法で定められた「重要文化的景観 別府の湯けむり・温泉地景観」に選定されている。



住 別府市鉄輪東8組
電 0977-21-1128（別府市観光課）

別府市竹細工伝統産業会館

別府市

世界から注目されている竹の魅力を紹介

「歴史」「素材」「未来」などのテーマごとに生活用品から斬新なインテリア用品、美術工芸品などを展示。竹鈴作り体験もできる。



住 別府市東荘園8-3
電 0977-23-1072 営 8:30～17:00
休 月曜（祝日の場合はその翌日）、12/29～1/3

スギノイパレス「ザ アクアガーデン」

別府市

浸かって遊べる温泉のエンターテインメント

水着で遊べる温泉施設。市街地や別府湾を望む展望スパ、塩サウナや泥パックなどが楽しめる。大展望露天風呂「棚湯」も利用可。



住 別府市観海寺1 電 0977-24-1141
営 12:00～23:00（最終入場22:00）※棚湯9:00～23:00
休 なし

戸次（へつぎ）の町並み

大分市

白壁の立ち並ぶ江戸時代の雰囲気を味わう

大野川沿いの交通の要衝地として、日向街道筋の在町だった戸次。本町周辺には帆足本家酒造蔵をはじめ、江戸時代の風情を留める建物や町並みが残っている。



住 大分市中戸次本町4407
電 097-597-0602（へつぎ杏の会）

ハーモニーランド

日出町

人気者に出会える ファンタジックな夢の国

ハローキティなどが人気のサンリオのテーマパーク。「ハーモニートレイン」などのアトラクションや、大型スクリーンの映像とキャラクターとの華やかなダンスシーンが融合する「パレードパラレル」（雨天可）なども楽しめる。



©2022, SANRIO CO.,LTD.

住 日出町藤原5933 電 0977-73-1111
営 季節により変動あり
休 不定

グローバルタワー

別府市

360度見渡す大パノラマ

グローバルタワーは、ビーコンプラザのシンボルタワー。地上100mにつくられた展望デッキからは、別府市内を一望することができる。



住 別府市山の手町12-1
電 0977-26-7111
営 9:00～21:00（3～11月）、9:00～19:00（12～2月）

別府ラクテンチ

別府市

ノスタルジックな雰囲気が人気の老舗遊園地

80年以上の歴史を持つ動物園を兼ねた遊園地。園内へは動物型のケーブルカーで上る。「あひるの競走」が有名で桜の名所でもある。



住 別府市流川通り18
電 0977-22-1301
営 季節により変動あり
休 火曜（祝日、GW期間、春・夏・冬休みは営業）冬季休園あり

城島高原（きじま）パーク

別府市

緑に囲まれた高原のレジャースポット

阿蘇くじゅう国立公園、由布岳の麓に広がる高原地帯に位置する遊園地。絶叫アトラクションやほのぼの系の乗り物など、30種類以上のアトラクションが揃う。



住 別府市城島高原123
電 0977-22-1165
営 9:00～18:00（曜日・季節によって変動あり）※GWと夏休みはナイター営業あり
休 不定

別府温泉にまつわるエトセトラ



かまど地獄

温泉巡りがもっと楽しくなる♪「別府八湯温泉道」とは？

温泉道に参加する入浴施設のうちの88湯を巡り、「スパポート」(100円)にスタンプを集め、認定(500円～)してもらうと「別府八湯温泉道名人」になれます。JR別府駅の観光案内所や別府市観光協会で販売中。たくさん巡って、温泉の魅力を味わい尽くしてみませんか。

問 別府市観光協会
電 0977-24-2828(平日)



パスポートならぬ「スパポート」

ここは天国？それとも… 地獄めぐり

ようこそ地獄へ

別府の鉄輪・亀川地区には、源泉の噴気や熱湯が地上に勢いよく噴出する7つの地獄(海地獄・鬼石坊主地獄・かまど地獄・鬼山地獄・白池地獄・血の池地獄・龍巻地獄)があります。特に色彩、形態が素晴らしいと評価された「海地獄」「血の池地獄」「白池地獄」「龍巻地獄」は、国の名勝に指定されています。"日本一のおんせん県"ならではの観光スポットです。これら7つの地獄をバスで巡る便利な「定期観光バス別府地獄めぐりコース」もあります。

住 別府市鉄輪・亀川地区　電 0977-66-1577(別府地獄組合)

詳細はこちら！

別府は女性バスガイド発祥の地



全国で初めての女性バスガイドを導入した別府観光の父・油屋熊八(写真中央)。
(写真提供：平野資料館)



海地獄



血の池地獄



白池地獄



龍巻地獄



竹瓦かいわい路地裏散歩

別府八湯ウォーク 温泉文化を体感するなら、多彩な町歩きへGO！

「別府八湯ウォーク」は、別府八湯(別府・鉄輪・浜脇・観海寺・明礬・堀田・柴石・亀川)を地元ガイドが歩きながらご案内する、ウォーキングツアーの総称です。地元を愛するボランティアガイドの方と一緒に巡れば、ますます別府を好きになること間違いなし！
事前予約は不要なコースもあるので、お気軽にご参加ください。

詳細はこちら！

個性豊かなコースがこんなに！

- 竹瓦かいわい路地裏散歩Ⓒ
- べっぷ街中おもてなしウォーク
- 別府アートウォーク
- ネコサファリ
- 山の手レトロ散策
- 朝見郷ロマン散策 歴史文化コース
- 鉄輪温泉湯けむり散歩
- 地獄・極楽めぐり

など

二の丸館(やかた)

日出町

城下町散策に便利な設備が充実した観光拠点施設

無料駐車場、観光案内所、レンタサイクル、軽食・喫茶店など、観光客のための設備を備えた観光拠点施設。館内では土産品なども数多く販売している。



住 日出町2612-1
電 0977-72-4255(ひじ町ツーリズム協会)
営 8:30～17:00
休 年末年始

糸ヶ浜海浜公園(いとがはま)

日出町

季節を問わず楽しめる海浜公園

遠浅の海水浴場で、オートキャンプ場、ログキャビン、パークゴルフ場などを備えた総合レジャー公園。公園内には、サップ体験施設や食堂も併設している。



住 日出町大神6842
電 0977-72-0555(糸ヶ浜管理事務所)

致道館(ちどうかん)

日出町

多くの門下生を輩出した日出藩の学び舎

安政5年(1858)に15代藩主木下俊程が創立した、大分県に現存する唯一の藩校。明治4年(1871)の廃藩置県で閉校になるまで、身分に関係なく広く学問を学ばせた。



住 日出町2594-3
電 0977-72-8298
営 9:00～17:00　休 月曜(祝日の場合はその翌日)

深江の朝市

日出町

県下でも珍しい毎朝開催される朝市

深江地区にある大神漁港で開かれている朝市では、獲れたての新鮮な魚介類をお得な値段で購入できる。競りの見学は自由。毎週土曜日は、食事処のオープンや出店もあり。



住 日出町大神5418
電 0977-72-2051(大分県漁協日出支店)
営 7:30～　休 日曜、祝日(月に1～2回水曜休み)

鬼門櫓(きもんやぐら)

日出町

北東の鬼門が欠けた全国的にも稀な形の隅櫓

日出城本丸北東隅に築かれた当時、北東の方位は禍(わざわい)を招く「鬼門」であることから、隅欠きが施されたといわれている。日出町有形文化財指定後、現在地へ移築・復元された。



住 日出町2606-1
電 0977-72-4255(ひじ町ツーリズム協会)
営 9:00～17:00(櫓の内部で史料展示)
休 月曜(祝日の場合はその翌日)、年末年始

人間魚雷「回天」大神訓練基地跡(にんげんぎょらい かいてん おおがくんれんきちあと)

日出町

次世代へ伝えていきたい貴重な戦争遺産

人間魚雷「回天」による、特攻訓練のために作られた基地跡地。水雷壕、回天格納庫などの基地遺構が残る。英霊を祀る回天神社があるほか、記念公園には回天の実物大レプリカもある。



住 日出町大神5673-55
電 0977-72-4255(ひじ町ツーリズム協会)

二階堂美術館

日出町

近代から現代にいたる日本画作品を幅広く展示

「大分むぎ焼酎二階堂」で全国的に有名な二階堂酒造が、代々受け継いだ日本画を一般公開しようと1994年に設立した日本画の美術館。横山大観、川合玉堂、上村松園など、近代日本画壇を担った画家たちの作品が展示されており、季節にあわせて定期的に開かれるテーマ別の企画展は見応えあり。



住 日出町川崎837-6　電 0977-73-1100
営 9:00～17:00　休 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始

大神ファーム(おおが)

日出町

潮風と南欧の香り漂う庭園

約2万坪の広大な敷地に、150種類以上のハーブや600種類のバラが植えられている。敷地内にはハーブをふんだんに使った料理が味わえるレストランやショップ、カルチャー工房などがある。



住 日出町大神6025-1
電 0977-73-0012
営 9:00～17:00(カフェ・ショップは10:00～16:00)
休 火曜(祝日の場合は営業)※12月は土日のみ営業





九重“夢”温泉郷（写真左：筌ノ口温泉 新清館、写真右：九酔渓温泉 二匹の鬼）
温泉が多数湧出する九重町。筋湯温泉・宝泉寺温泉・筌の口温泉・龍門温泉・九酔渓温泉などがあり、それぞれ泉質や効能が異なる個性豊かな湯が町内随所に点在している。

チューモク
日本一のうたせ湯が自慢
筋湯（すじゆ）温泉







1,000mの高地にあり、体の「筋」に効くことから名付けられました。約3mの高さから湯が落ちる「日本一のうたせ湯」など、3つの共同浴場があります。
電 0973-76-3150（九重町商工観光・自然環境課）

雄大な山里の景色に抱かれて

一度は行ってみたい、大分屈指の温泉郷、由布院温泉。900を超える源泉が毎分40kℓも湧出しています。あわせて塚原温泉、湯平温泉、庄内温泉、挾間温泉などそれぞれ情緒ある湯巡りが楽しめます。豊富な湯量と周辺の美しい自然を兼ね備えていることから、由布市全域が国民保養温泉地にも指定されており、山里の穏やかなひとときは、じんわりと心をほぐしてくれることでしょう。

やまなみハイウェイで結ぶ、九重“夢”温泉郷は、実にバラエティ豊か。日本有数の眺望を誇る飯田高原で思い切り深呼吸して、爽快感あふれる時間を過ごしてみませんか。

お土産



ゆのひらんアイス（由布市）
湯平温泉の女将たちの手作りアイス

ブルーベリー（由布市・九重町）
摘み取り体験のほか、スイーツもおすすめ。





飲むヨーグルト（九重町）
搾りたての新鮮な牛乳だけを使用。濃厚でさわやかな味わいが特徴。

庄内梨（しょうないなし）（由布市）
秋には観光農園でもぎたてを味わえる。国道沿いには直売所もある。





極楽温鶏（ごくらくおんけい）（九重町）
丸ごとの鶏肉の中に野菜をつめて、温泉の蒸気で蒸し上げる豪快かつヘルシーな料理。



いちごビネガー（由布市）
由布市産の新鮮なベリーツやさがほのかをたっぷり使用。



九重の銘酒（九重町）
創業150余年にわたって九重山群からの清冽な伏流水で仕込む。



由布院温泉
塚原温泉
湯平温泉
九重“夢”温泉郷
やまなみエリア
ゆふし ここのえまち
由布市・九重町

憧れのあの温泉地へ…高原の湯に身をゆだねて

由布院温泉（写真：山のホテル夢想園）
露天風呂から見る四季折々の由布岳は絶景！



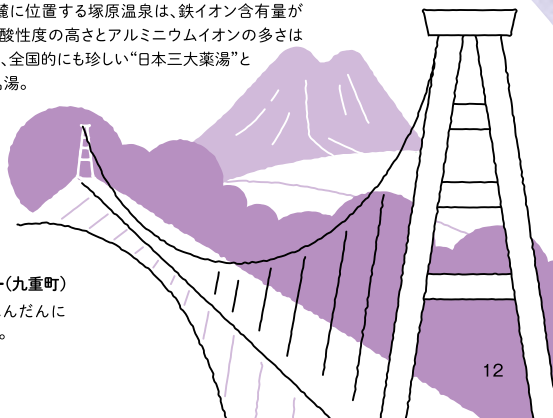
挾間温泉（写真：きのこの里）
山里に点在する温泉地でとろみのある泉質が魅力。美人の湯と称されるアルカリ性単純温泉。



塚原温泉（写真：塚原温泉 火口乃泉）
伽藍岳の麓に位置する塚原温泉は、鉄イオン含有量が日本一位、酸性度の高さとアルミニウムイオンの多さは日本二位と、全国的にも珍しい“日本三大薬湯”と言われる名湯。



九重“夢”バーガー（九重町）
九重町の農産物をふんだんに使ったご当地バーガー。



憧れの観光地と大自然を満喫コース

人気の由布院を楽しんだ次の日は、自然あふれる九重町へ。大自然に心も身体も癒やされます。



黒川または阿蘇市へ ← 車で20 or 40分 ← 九重町で温泉 ← 車ですぐ ← タデ原湿原 ← 車で10分 ← 九重“夢”大吊橋 ← 九重泊 ← 車で約40分 ← 由布院散策

九重星生ホテル（くじゅうほっしょう）



自然に囲まれた景観自慢の温泉

くじゅう連山を見渡す国立公園内にあるホテル。大露天風呂「山恵（さんけい）の湯」では、雄大な九重の大自然を眺めながら天然温泉が楽しめます。夜には、まるで降り注ぐような満天の星に大感動☆

住 九重町田野230
電 0973-79-3111
営 平日・土・日曜10:00～19:30　※火・金曜は14:30～

タデ原湿原



独特の地質が育んだ希少な植物の宝庫

くじゅう連山の北側に位置する国内最大級の湿原。2005年、国際的にも重要な湿地であると認められ、ラムサール条約に登録されました。タデ原湿原と周辺の森林内には自然研究路が設置されているので、希少植物の観察などを楽しもう。

住 九重町長者原
電 0973-79-2154（長者原ビジターセンター）

九重“夢”大吊橋

絶景を愛でながらの空中散歩



九酔渓（きゅうすいけい）の標高777mに架かる長さ390m、高さ173mの歩道専用として“日本一の高さ”を誇る吊り橋。足がすくむような高さから、四季折々の美しい光景を眺められます。

住 九重町大字田野1208
電 0973-73-3800
営 8:30～17:00
※券売終了は、終了時間の30分前
休 なし※天候による入場制限あり

九重泊

いろんなワクワクがいっぱい！
美しい由布岳や金鱗湖を眺めたり、お土産屋さんが並ぶ湯の坪街道を散策したり、ステンドグラスやお箸づくりを体験したり…。たくさんの楽しみが詰まっています。もちろん、地元食材を使った料理やスイーツなどもありますよ。

辻馬車

お馬さんに揺られてのんびり観光



由布院の町を歩いていると聞こえてくる、パッカパッカという馬の蹄（ひづめ）の音。のどかな田園地帯を馬が引く観光辻馬車です。由布院駅を出発し、観光名所や田園地帯を約60分で巡ります。旅の思い出になること間違いなし！

電 0977-84-2446
（由布市ツーリストインフォメーションセンター）
営 9:00～16:00（3～11月）、
9:30～15:00（12～1月上旬）
休 1月上旬～2月

庄内神楽（しょうないかぐら）

由布市

代々受け継がれた勇壮な舞とお囃子の音色



勇壮かつ壮麗で、テンポの早い舞が特徴の神楽で、12の神楽座によって今に踊り継がれている。5月から10月の第3土曜日に開かれる定期公演のほか、11月には庄内神楽祭りも行われる。

電 097-582-1111（由布市庄内地域振興課）

大杵社の大杉（おおごしゃ）

由布市

パワースポット！樹齢千年の大杉



国指定天然記念物。根本の周囲が13.5m、高さは35mあり、幹の裏側には畳3畳分ほどの空洞がある。最近では、パワーを授かれる…と多くの人が訪れている。

住 由布市湯布院町川南746-19
電 0977-84-2446（由布市ツーリストインフォメーションセンター）

金鱗湖（きんりんこ）

由布市

荘厳な狭霧に包まれる由布院名所



湖底から清水が湧き温泉が流れ込む珍しい湖は、冬場の朝、霧のベールに覆われて幻想的な雰囲気に包まれる。

住 由布市湯布院町川上1561-1
電 0977-84-2446（由布市ツーリストインフォメーションセンター）

宇奈岐日女神社（うなぎひめ）

由布市

静寂な時が流れる神秘の場所



由布院盆地の東南に位置し、観光名所の一つ。国常立尊をはじめとする六柱を祭神とすることから、別名「六所宮」とも呼ばれる地元の鎮守さま。

住 由布市湯布院町大字川上字六所2220
電 0977-84-3200（社務所）

湯平温泉の石畳（ゆのひら）

由布市

浴衣姿で歩きたい江戸時代から残る石畳



800年もの歴史をもつ湯平温泉。江戸時代につくられた石畳の両脇には旅館が立ち並ぶ。夜になると赤提灯が灯り、幻想的な風景に引き込まれる。

住 由布市湯布院町湯平
電 0977-86-2367（湯平温泉観光案内所）

塚原高原（つかはらこうげん）

由布市

観光地の喧騒とは無縁の雄大な別天地



由布市の北側に広がる丘陵地帯で、手付かずの自然に囲まれた美しい高原。春の野焼きや新緑、秋のススキなど四季折々に情景が変化し、見る人を飽きさせない。ドライブや乗馬などで楽しめる。

住 由布市湯布院町塚原
電 0977-85-2254（塚原高原観光協会）

由布川峡谷（ゆふがわきょうこく）

由布市

「九州百景」に選ばれたダイナミックな造形美



神秘の景観を見せる由布川の景勝地で、「東洋のチロル」と呼ばれる大峡谷。深さ20～50mのV字型の峡谷が続き、幾筋にも分かれて落ちる水や、しなやかな曲線美を描く岩肌はまさに天然の芸術品。

住 由布市挾間町朴木14-2
電 097-583-2552（由布川峡谷観光協会事務所）

黒岳・男池（おいけ）

由布市

悠久の時を超えて息づく原生林の森



くじゅう連山の東端にそびえ、原生林に覆われた自然散策にぴったりの山。山麓にある男池湧水は1日約2万トンがこんこんと湧き出ており、自然の神秘を感じさせる。日本名水百選の一つ。

住 由布市庄内町阿蘇野
電 097-582-1111（由布市庄内地域振興課）

くじゅう連山のミヤマキリシマ　九重町

山肌を覆うように広がるピンクの絨毯

5月下旬から6月中旬にかけて見ごろを迎える初夏の風物詩。山開きの頃から、平治岳や大船山をはじめとしたくじゅう連山は、ミヤマキリシマのピンク色に染まる。



電0973-76-3150（九重町商工観光・自然環境課）

壁湯温泉　九重町

野趣あふれる洞窟の湯

その昔、仙女が住んでいたという伝説の残る温泉。天然の洞窟風呂は、6月頃には蛍が舞い幻想的な雰囲気に包まれる。



住九重町大字町田62-1
電0973-78-8754（旅館 福元屋）
営10:00～16:00
休不定

蛇越展望所　由布市

朝霧が包む幽玄の世界

由布院盆地に広がる朝霧が見下ろせる絶景ポイント。大蛇伝説から蛇越峠と名付けられた峠にある展望台で、県道11号（やまなみハイウェイ）を由布院から阿蘇方面に15分ほど走ると到着する。



住由布市湯布院町川西1750-110
電0977-84-2446（由布市ツーリストインフォメーションセンター）

城ヶ原オートキャンプ場　由布市

天然温泉の露天風呂も楽しめる

大分川と阿蘇野川が合流する位置にある城ヶ原公園内のキャンプ場で、オートサイトやログハウスがある。公園内には河川プールや芝生広場などがあり、ゆっくりと過ごすことができる。



住由布市庄内町柿原1
電090-2079-5318（城ケ原オートキャンプ場）受付 9:00～17:00
営期間営業

九重グリーンパーク泉水キャンプ村　九重町

アウトドア派に大人気！自然を満喫するキャンプ場

泉水山の麓にある自然豊かなキャンプ場。オートキャンプはもちろん、ロッジやバンガローもあり、グループや家族連れにもおすすめ。



住九重町田野204-1
電0973-79-3620

筌の口共同温泉　九重町

山あいの歴史ある温泉地

天保13年（1728）に湯小屋を建てたのが始まりで、文豪・川端康成も小説「波千鳥」の構想を練るために滞在したといわれる温泉地。黄褐色のにごり湯で鉄分のにおいが特徴。共同浴場は24時間入れ、魅力の一つとなっている。



住九重町大字田野筌の口
電0973-73-5505（九重町観光協会）
営24時間（水曜：21:00～22:00、土曜5:30～8:00の間は清掃の為入浴不可）
休清掃時以外はなし

やまなみハイウェイ　九重町

雄大な自然に抱かれた絶好のドライブコース

別府市から阿蘇市一の宮をつなぐ県道11号線の愛称。くじゅう連山に抱かれた飯田高原一帯は草原の大パノラマが広がる。親子で楽しめるレジャースポットや温泉、高原グルメが味わえる店が点在しているのでドライブにぴったり。



電0973-73-5505（九重町観光協会）

九重森林公園スキー場　九重町

標高1,300mに位置する九州最大のスキー場

阿蘇五岳や涌蓋山の大パノラマが一望できる最大斜度25度、総延長2,500mの大分県で唯一のスキー・スノーボード場。子ども広場から上級者向けのジャンプ台もあり、家族で楽しめる。



住九重町湯坪612-1
電0973-79-2200
営12月中旬～3月下旬
休シーズン中はなし

阿蘇くじゅう国立公園

～草原のかほり、火山の呼吸。風が遊ぶ感動の大地～

世界有数の阿蘇カルデラとくじゅう連山や由布・鶴見岳の火山群、そしてその周囲には、放牧や野焼きなどの営みによって維持され続けている、雄大でなだらかな草原が広がる。
くじゅうの山々では、初夏のミヤマキリシマ、秋の紅葉、冬の霧氷など四季折々の自然の姿を楽しむことができ、家族連れでも楽しめるトレッキングコースも多い。また周辺には、湧水地や温泉も多く、自然の恵みを体中で感じられる。





長者原ビジターセンター　電0973-79-2154

飯田高原　九重町

雄大な自然に囲まれたなだらかな丘陵地帯

阿蘇くじゅう国立公園の一角、くじゅう連山の北麓に位置する高原。春の野焼きに始まり、秋の紅葉、冬の樹氷など大自然の魅力が一年中堪能できる。ドライブやアウトドアに人気のスポット。



電0973-73-5505（九重町観光協会）

九酔渓　九重町

岩肌と新緑や紅葉が織りなす圧巻の景観

玖珠川流域の両岸に直立する断崖絶壁が2kmほど続く九酔渓は、モミジやカエデなどの渓谷林が繁茂し、随所にある瀑布や深淵とともに絶景を作り出している。特に紅葉の頃、通称「十三曲」と呼ばれる峠道の美しさは圧倒的。



電0973-73-5505（九重町観光協会）

長者原ビジターセンター　九重町

阿蘇くじゅう国立公園くじゅう地域を紹介する植物展示施設。館内では、四季ごとの自然に関する展示をはじめ、巨大衛星写真やハイビジョンシアターでくじゅうの四季の映像が見られます。

住九重町大字田野255-33
電0973-79-2154
営9:00～17:00（5月～10月）、9:00～16:00（11月～4月）
休12月29日 ～ 1月3日



くじゅう野の花の郷　九重町

山野草を眺めながらゆったり散策

阿蘇くじゅうの希少野生植物をはじめ、四季折々の山野草を楽しめる野草園。貴重な植物を観賞しながら散策ができるほか、園内のレストランでは地元産の食材を使った郷土料理が味わえます。また、民芸品などのお土産類も販売しています。



住九重町大字田野1672-18
電0973-79-3375
営10:00～17:00　休水曜

寒の地獄旅館　九重町

湯上り爽快！冷たい温泉

その名のとおり、14度の冷泉が楽しめる施設。水着着用の混浴で、入浴後、暖房室で暖をとることで皮膚病やリウマチなどの療養に効果があるといわれている。源泉の冷泉は7～9月の夏季のみ入浴可能で、冷泉付温泉は通年利用可。



住九重町田原257
電0973-79-2124（寒の地獄旅館）
営10:00～14:00（金～火曜）

奥豊後温泉郷
・長湯温泉　・竹田温泉
・久住温泉　・七里田温泉
・赤川温泉　・白丹温泉
・荻温泉

奥豊後エリア

竹田市・豊後大野市

ダイナミックな自然と炭酸泉に癒やされよう



長湯温泉（写真：温泉療養文化館 御前湯）
長湯温泉は、全国的にも珍しい日本屈指の炭酸泉で有名。『御前湯』の建物は、ドイツの建築様式を取り入れており、長湯温泉のシンボルとなっている。



おおいた和牛（竹田市ほか）
大分の恵まれた自然の中で育った豊後牛は、赤身と霜降りがバランスよく調和し、柔らかく舌でとろける極上の旨さ。



炭酸泉を実感！
長湯温泉では、高濃度炭酸泉が湧出。浸かっても飲んでも良しの温泉を体感できる。



エノハ料理（竹田市）
ヤマメのことを、九州の一部では「エノハ」と呼ぶ。清流のみに生息するエノハを、塩焼きやから揚げで堪能しよう。





久住温泉（写真：赤川温泉赤川荘）
久住高原に湧く秘湯。青白く美しい湯は、全国でもまれにみる良質温泉と評判だ。



久住温泉（写真：久住高原コテージ）
眼下には草原、遠くには阿蘇五岳や祖母山系の山々…と見渡す限りの大パノラマが楽しめる温泉。開放感抜群！

古代より受け継がれた名湯ばかり

奥豊後温泉郷の温泉は、城下町の温泉や川沿いの歴史深き露天風呂、高原の開放感あふれる温泉などバラエティ豊か。岡藩主が湯で疲れを癒やしたと伝えられている御前湯の炭酸泉をはじめ、中世から農作業の休閑の憩いの場や湯治の地として愛され続けてきた七里田温泉などが今に受け継がれ、至福のひとときをもたらしてくれます。

湯の素晴らしさは、歌人・与謝野鉄幹や種田山頭火などが残した数々の詩を読めば一目瞭然。多くの文人墨客をうならせた名湯があなたを待っています。

笑 食 歩 温

竹田式湯治
温泉を楽しみながら健康になる

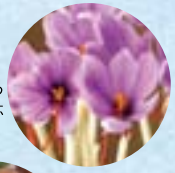
歩いて、温泉浴をして、食べて、笑う。竹田市の豊かな自然と文化を体感することで、元気な心と体を作る「竹田式湯治」は、国内初の取り組みで、竹田市内に延べ3泊以上宿泊した方を対象に、“保健”が適用になります。詳しくは、竹田市観光ツーリズム協会まで。

竹田市観光ツーリズム協会
℡0974-63-0585

お土産



荒城の月・三笠野（竹田市）
竹田市の銘菓として名高いお菓子。



サフラン（竹田市）
江戸時代から伝わる栽培方法で、花芯生産量日本一。



頭料理（竹田市）
ニベやアラなど、大きな魚のあらゆる部位をそれぞれ独特の方法で湯引きし、三杯酢でいただく郷土料理。



しいたけ・乾しいたけ（竹田市・豊後大野市）
肉厚でしっかりした食感の原木しいたけ。



かぼす（竹田市）
さわやかな香りとまろやかな酸味が、どんな料理にも合う。



地酒・焼酎（竹田市・豊後大野市）
豊かな水に恵まれ、個性豊かな日本酒や焼酎などが揃う。



酒まんじゅう（豊後大野市）
ほんのりと麹の香りが漂う、手づくりの懐かしい味わいが人気。

日本一の炭酸泉と自然に触れるコース

全国的にも珍しい高濃度炭酸泉は美肌効果抜群！
美しい自然にも触れて、心身共に美人を目指しましょう。



延岡市へ ← 車で60分 ← 岩戸の景観 ← 車で約20分 ← 原尻の滝とその周辺 ← 車で約20分 ← 岡城跡 ← 車で30分 ← 長湯温泉泊 ← 車ですぐ ← 長湯温泉 ← 車で約20分 ← くじゅう花公園

岩戸（いわど）の景観



鉄道写真ファン注目のスポット

JR豊後清川駅とJR三重町駅間にある、大野川の本流と奥岳川が合流する場所に、高さ50m、長さ500mにわたる大絶壁があり、「岩戸（いわど）」と呼ばれています。岩壁に掘られたトンネルが川を渡る鉄橋に直接接続されていて、まるで列車が飛び出してくるような光景に、多くの鉄道ファンがシャッターを切っています。

住 豊後大野市清川町臼尾
電 0974-22-1001
（おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会）

原尻（はらじり）の滝周辺



パワースポット近くの立ち寄りスポット

東洋のナイアガラと称されるほど美しく、パワースポットとして有名な「原尻の滝」(P23)周辺では、春になると色とりどりのチューリップが辺り一面に咲き誇り、「チューリップフェスタ」が開催されます。また地元特産品の販売やオリジナル料理が味わえるレストランを併設した『道の駅 原尻の滝』もあります。

住 豊後大野市緒方町原尻
電 0974-42-2111（豊後大野市緒方支所）

国指定史跡 岡城跡（おかじょうあと）



難攻不落の名城を巡る

江戸時代、七万石を治めた岡藩初代藩主中川秀成氏が築いた城。本丸、二の丸、三の丸、西の丸などの主な曲輪を見ることができます。春は桜、夏は新緑、秋は紅葉と四季折々の景色は感動の美しさ。

住 竹田市竹田320
電 0974-63-1541（岡城料金徴収所）
営 9:00～17:00
休 12/31～1/3

長湯温泉泊



長湯温泉は、日本全国でも珍しい高濃度炭酸泉が湧いています。気泡が肌にじんわりまとわりついてきて不思議な感じ！健康にもダイエットにも効果があると言われています。

ラムネ温泉館



日本一の炭酸泉をじっくり堪能

32度の炭酸泉の湯と42度の炭酸水素塩泉の2種類の湯が楽しめる人気の温泉館。大浴場のほかに、家族風呂もあります。

住 竹田市直入町大字長湯7676-2
電 0974-75-2620
営 10:00～22:00
休 毎月第1水曜 ※1月と5月は第2水曜

くじゅう花公園



雄大な高原に位置する花の楽園

くじゅう連山を背景に、チューリップやラベンダー、コスモスなど、季節毎に約500種類の花々が咲き誇ります。園内にはレストランやジェラート屋、体験工房などショップも充実しています。

住 竹田市久住町久住4050
電 0974-76-1422
営 8:30～17:30
休 12～2月

武家屋敷通り　竹田市

城下町として栄えた面影が今も残る



白壁造りの町家や懐かしい看板が今も多く残り、江戸の風情漂う。この通りを含め広瀬神社からキリシタン洞窟礼拝堂や廉太郎トンネル、円通閣、愛染堂など、城下町を巡る道を「歴史の道」と呼ぶ。

住 竹田市竹田殿町
電 0974-63-4807（竹田市商工観光課）

竹田市歴史文化館 由学館　竹田市

竹田の歴史と文化を学ぶ交流拠点



岡城と田能村竹田、竹田市の歴史を紐解くミュージアム。館内には「岡城ガイダンスセンター」、市民をはじめ様々な文化芸術活動の場「市民ギャラリー」、企画展・特別展を開催する「特別展示室ちくでん館」等がある。

住 竹田市竹田2083
電 0974-63-2200　営 9:00～17:00（最終入場16:30）
休 木曜・年末年始（展示入替の臨時休館あり）

小津留湧水（おづるゆうすい）・水の駅おづる　竹田市

清らかな水が溢れる憩いの場所



海原六神社そばにあり、毎分4tもの水を湧出している。県道沿いにあるため交通アクセスも便利で、農産物等直売所が併設された「水の駅おづる」は立ち寄りスポットとしても人気。

住 竹田市直入町下田北1319-1
電 0974-64-7277　営 8:00～18:00 ※湧水はいつでも利用可能
休 12月～2月は第1水曜

竹田（たけた）湧水群　竹田市

清冽でミネラルたっぷりの湧水があちこちに



阿蘇山系の豊かな自然に染み込んだ伏流水は透明度とあっさりした味わいで名高く、エノハやみずみずしい野菜など多くの産物を育んでいる。

電 0974-63-4807（竹田市商工観光課）

瀧廉太郎（たきれんたろう）記念館　竹田市

数々の名曲を生んだ作曲者の生涯を紹介



名曲「荒城の月」や「花」で知られる音楽家、瀧廉太郎が少年時（12～14歳）に過ごした屋敷を公開。手紙や写真、直筆の楽譜も展示。

住 竹田市竹田寺町2120-1
電 0974-63-0559
営 9:00～17:00（入館16:30まで）
休 12/29～1/3

キリシタン研究所・資料館　竹田市

ミステリアスな隠しキリシタンの謎を展示



竹田に受け継がれる“キリシタン遺物”や貴重な資料を展示・保存する施設。『竹田キリシタン』をはじめとする、城下町・市内観光の総合ガイダンスの拠点となっている。

住 竹田市竹田町581
電 0974-63-3383
営 9:30～17:00　休 月曜

キリシタン洞窟礼拝堂　竹田市

全国的にも珍しい人工の洞窟礼拝堂



元和年間の初期に掘られたようで、約400年の時を経ている。中に入ると天井がドームになっており、その様式美はヨーロッパのゴシック建築を模したのではないかと言われている。二人の宣教師がここに隠れ住んだ。

住 竹田市竹田殿町
電 0974-63-4807（竹田市商工観光課）

白水（しらみず）の滝　竹田市

多くの文化人が歌を詠みたたえた名瀑



大野川の源流であるこの滝の雄大な飛瀑は、訪れる者を幽玄の世界に誘う。「大分県百景」の一つで下流大野川の源流の陽目（ひなため）渓谷は野外レクレーション地で春は新緑、夏はキャンプ、秋には紅葉が楽しめる。

住 竹田市荻町陽目
電 0974-63-4807（竹田市商工観光課）

菅尾磨崖仏（すがお）

豊後大野市

断崖に刻まれた赤色鮮やかな磨崖仏たち

100段ほどの石段を上ぼると、穏やかで慈悲深い表情の如来像に迎えられる。阿弥陀如来を中心に鬼が彫ったという伝説が残る5体の磨崖仏で、地元では「岩権現」と呼び親しまれている。



住 豊後大野市三重町浅瀬
電 0974-22-1001（おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会）

宝生寺（ほうしょうじ）

豊後大野市

秋の幻想的なライトアップは必見

800年の歴史を持つ、由緒ある寺。豊後の大守鎮西探題、大友出羽親隆公の祈願によって再建された。「彩の宝生寺」、「宝生寺の秋」と言われるほど、秋の紅葉時期には鮮やかな彩りを放つ。



住 豊後大野市清川町宇田枝1639
電 0974-35-2559

おおいた豊後大野ジオパーク

多彩な地形や地質を有する豊後大野市。今から9万年前、阿蘇火山の大噴火による火砕流が冷え固まった岩石により、たくさんの雄大な大地や磨崖仏などが残り、大分の石造文化の発展に大きな影響を与えました。



原尻の滝（はらじり）

ダイナミックな景観に思わず息をのむ

落差20m、幅120mにもわたる名瀑は「日本の滝百選」に数えられている。水しぶきをあげて轟音とともに流れ落ちる滝は迫力満点。上流には大正12年に造られた石造5連アーチが美しい原尻橋がある。

住 豊後大野市緒方町原尻

沈堕の滝（ちんだ）

雄滝、雌滝がつくり出す美しい名瀑



雄滝は高さ20m・幅100m、雌滝は高さ18m・幅10m。かつてその雄大さを雪舟も描いている。明治時代の水力発電所の遺構もあり、いろいろな楽しみ方ができる。国登録記念物。

住 豊後大野市大野町矢田

出会橋・轟橋（であいばし・とどろばし）

渓谷に架かる日本一と第2位のアーチ橋



奥岳川に架かる2本の石橋が美しくも壮大なアーチを描く。轟橋の径間は32.1mで日本一。出会橋の径間は29.3mで第2位である。

住 豊後大野市清川町平石

川上渓谷（かわかみけいこく）

祖母山系で最も美しい渓谷



森林浴の森日本百選に選ばれた渓谷。祖母山系花崗岩類の白い河床や岩肌が美しく、春から秋にかけて多くの登山客が訪れる。思わず深呼吸したくなる深い森とどこまでも透明な水。そこは別世界。

住 豊後大野市緒方町尾平鉱山

おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会（豊後大野市商工観光課内） 電 0974-22-1001

里山風景・絶景を楽しむ 九州オルレ

《奥豊後コース、さいき・大入島コース》



自然や温泉を五感で感じ、自分のペースでゆっくり巡る「九州オルレ」。大分県には、難攻不落の城として知られる「岡城跡」や紅葉が美しい「用作公園」、日本最大級の磨崖仏が見られる「普光寺」などを巡る「奥豊後コース」と、海が身近に感じられる「舟隠」や周りの景色が一望できる360度のパノラマ「遠見山展望所」などがある「さいき・大入島コース」の2コースがあります。

問/0974-63-0585（竹田市観光ツーリズム協会）
0974-27-4215（ぶんご大野里の旅公社）
0972-23-3400（佐伯市観光案内所）

久住高原（くじゅう）

竹田市

開放感あふれる大パノラマに感動

九州の屋根といわれるくじゅう連山の麓に広がる壮大な大草原。スケールの大きさと美しさは、日常の雑事を忘れさせてくれるよう。春は山菜狩り、夏はキャンプやハイキングに多くの人でにぎわう。



住 竹田市久住町久住3987（久住さやか内）
電 0974-76-1610（久住高原観光案内所）

詩吟ミュージアム 深田光霊記念「詩聲館」（しせいかん）

竹田市

城下町に響く文化の音

「詩聲館」は、吟詠家の深田光霊氏が吟界で成し遂げた業績を顕彰し、日本固有の吟歌吟詠の文化を後世に伝承することを目的とした「吟詠ミュージアム」。ゆったりとDVDの映像を楽しむスペースもある。



住 竹田市竹田1987-4 電 0974-63-3811
営 9:00～17:00（入館16:30まで）
休 月曜（祝日の場合はその翌日）、12/28～1/3

ココペリ・ウエスタン・ライディング

竹田市

馬に乗って雄大な久住高原を駆け抜ける

くじゅう連山・祖母山・阿蘇五岳が一望できる大パノラマが広がり、四季折々に素晴らしい景色を野外騎乗で楽しめる。馬が大人しいので、初心者でも安心。馬上から見る景色も別格。



住 竹田市久住町久住4048
電 090-7398-0302 営 10:00～17:00
休 なし ※悪天候時は休み

ガンジー牧場

竹田市

希少なガンジー牛の乳製品をどうぞ

小動物と遊んだり、出来たての乳製品が食べられるふれあい牧場。ガンジー牛の「ゴールデンミルク」をたっぷり使用したソフトクリームが大人気。



住 竹田市久住町久住4004-56
電 0120-20-4092
営 9:00～17:00
休 なし

用作公園（ゆうじゃく）

豊後大野市

水面に映る燃え立つ紅葉に感動する

岡藩家老の別荘地で、園内にはカエデやモミジなどの紅葉の木々が約500本あり、中心の心字池に映える紅葉は見とれるような美しさ。紅葉期間中は夜間にライトアップされ、幻想的な景色は見ごたえたっぷり。



住 豊後大野市朝地町上尾塚
電 0974-72-1111（豊後大野市朝地支所）

朝倉文夫記念館

豊後大野市

彫刻家が愛した美しい自然の中で作品を鑑賞

日本近代彫刻界で活躍した朝倉文夫の郷里に作られた記念館。「墓守」や「猫」などの代表作の展示や、アジア彫刻展も開催される。



住 豊後大野市朝地町池田1587-11
電 0974-72-1300
営 9:00～16:30
休 月曜（祝日の場合はその翌日）、年末年始

稲積水中鍾乳洞（いなづみ）

豊後大野市

青白く光る幻想的な世界を体感！

世界的に珍しい大規模な水中鍾乳洞。20万年前の氷河期から発達した無数の鍾乳石や水深40m超の深淵など、神秘的な地底の水中世界。また、流行の「テントサウナ」も体験できる。



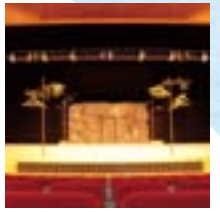
住 豊後大野市三重町中津留300
電 0974-26-2468
営 9:00～17:00（夏季延長）
休 なし

神楽会館（かぐら）

豊後大野市

脈々と受け継がれる躍動的な豊後大野の舞

神楽や獅子舞などの無形文化財が多く伝承されている豊後大野市。伝統芸能の中心地である神楽会館のホールでは定期的に公演が行われ、舞手の息遣いが伝わるような距離で神代の世界を堪能できる。



住 豊後大野市清川町砂田810
電 0974-35-2372



玖珠温泉郷（写真：宇戸の庄）
自然あふれる絶好のロケーションと、豊富な湯量が自慢。美肌に効くといわれる泉質の良さも人気の秘密。



耶馬渓温泉
（写真：市営深耶馬温泉館 もみじの湯）
耶馬渓の川沿いに立つ日帰り入浴施設。露天風呂からは、新緑や秋の紅葉など季節ごとの自然を楽しめる。

魅力的な町人文化が花開いた、城下町探訪

隣り合った豊前・筑豊・筑後地域の影響を受け、大分県でもほかの町とは一味違った雰囲気を醸し出している日田市・中津市・玖珠町。

天領として九州の政治・経済・文化の中心地となり、多くの偉人を輩出した日田。中津藩十万石として栄えた中津。来島水軍の末裔が森陣屋を築いた玖珠。今もなお、当時の歴史的な町並みや伝統文化が脈々と受け継がれています。長い年月の中で育まれた個性的な文化をご堪能ください。



日田やきそば（日田市）
パリパリの麺にシャキシャキのモヤシが日田やきそばのスタイル。シンプルながら、味わい深いソースが絡む絶妙な味。



ステーキ丼（玖珠町）
玖珠米の上に豊後牛がのったステーキ丼は、玖珠の美味しさをまるごと味わえる贅沢な一品。



玖珠のお米（玖珠町）
高原山麓地帯で育ち、天日の恵みを受け自然乾燥した「かけ干し」は、米のおいしさをさらに引き出した豊かでしっかりした味わい。



日田下駄（日田市）
「日田杉」で作った下駄。



うめぼし（日田市）
九州一の梅の里・大山町ならではの逸品。



山かけそば（中津市）
耶馬渓の名物。自然薯をすりおろし、手打ちそばにかけていただく。

お土産



柚子ごしょう（日田市）
唐辛子と柚子の果皮をブレンドした風味豊かな調味料。



中津からあげ（中津市）
醤油や塩をベースに、ニンニクやショウガなどの調味料を使ったタレに漬け込んだものが多く、冷めても美味しい。“からあげの聖地”だからこその味がそろう。



からししいたけ（玖珠町）
うまみの強い椎茸を、砂糖・醤油・からし等で味付け。



巻柿（中津市）
川底柿を乾燥させてわらで巻いた天保時代頃からのお菓子。



鱧料理（中津市）
豊前海に面した中津では、鱧の漁獲量が多く、鱧しゃぶ、刺身、湯引きなどの料理が楽しめる。

日田・耶馬エリア

日田市・中津市・玖珠町

川のせせらぎ、小京都の薫り…しっとり小粋なひととき。



三隈川の遊船（屋形船）（日田市）
夏はお座敷に仕立てた遊船（屋形船）で鵜飼いや花火を楽しみ、冬は障子を立てて雪見酒と、風流な天領時代の文化が体感できる。



天ヶ瀬温泉（日田市）
1,300年前に開湯した天領日田の奥座敷ともいえる歴史ある温泉街。
住 日田市天瀬町桜竹 電 0973-57-2166（日田市観光協会天瀬支部）



豆田の町並み（日田市）
江戸時代の町割りが残る碁盤目状の町並みに旧家や資料館が立ち並び、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。





鮎料理（日田市）
塩焼きや甘露煮、刺身など、夏から秋にかけての清流の恵みを味わって。



情緒あふれる大人の散策コース

歴史に残るスポットを巡った後は、遊船でしっぽりと…。ちょっぴり大人な時間を過ごしませんか。

福岡へ ← 車で60分 ← 日田市内散策 ← 車ですぐ ← 日田泊 ← 車で30分 ← 慈恩の滝 ← 車で20分 ← 豊後森機関庫公園 ← 車で50分 ← 耶馬渓散策 ← 車で30分 ← 中津城

日田鮎やな場茶屋

獲れたての旬を味わう





日田夏の風物詩「日田鮎やな場茶屋」。三隈川を眺めながら、水郷日田で育った美味しい鮎を堪能できます。営業は7月～11月初旬頃の予定です。ぜひ、季節限定の美味しさを味わって。

住 日田市若宮町1233-22
電 0973-24-0420
営 11:00～17:00（予定）
休 期間中はなし

日田温泉名物 遊船

情緒あふれる特別な夜を・・・



日田で小粋な夜を楽しむなら、優雅に会席料理が味わえる遊船（屋形船）がおすすめ。5月20日～10月末迄は「鵜飼い」も楽しめます。(P24)

電 0973-22-2062（日田温泉旅館組合）

豆田町散策

当時の面影を残す、情緒あふれる街並み



九州の小京都とも呼ばれる天領日田。その名残を伝える豆田町には、昔ながらの商店や民家、土産物屋が並びます。レンタル着物や人力車などもあり、はんなり気分が楽しめます。

電 0973-22-2036（日田市観光協会）

豊後森機関庫公園

昭和の遺産が紡ぐ鉄道ロマン



旧国鉄久大線を走るSLの格納庫として建てられ、現存する扇型機関庫としては九州唯一の近代化産業遺産。SLが間近で見られます。すぐ近くには水戸岡鋭治氏デザインのミュージアムもあります。

住 玖珠町岩室36-15
電 0973-72-7153
（玖珠町商工観光政策課）



耶馬渓は、「青の洞門」(P28)周辺の本耶馬渓と紅葉の名所で知られる「一目八景」の深耶馬渓(P28)、さまざまな景勝地が連なる渓谷裏耶馬渓等からなるエリアです。奇岩と季節ごとに色を変える木々の共演は、息を飲む美しさ！

祝！日本遺産認定

2017年4月、耶馬渓の歴史や文化を語るストーリー「やばけい遊覧～大地に描いた山水絵巻の道をゆく～」が日本遺産に認定されました。

石柱の断崖、岩窟、滝、巨石の大パノラマが広がる耶馬渓。その深く神秘な地形は伝説と祈りの場所となり、山水画のような風景は文人画人憧れの地でもありました。1,000年以上もの前から人々が楽しんできた“耶馬渓”という山水絵巻のような世界をぜひ、お楽しみください。

中津城（奥平家歴史資料館）



中津城下町のシンボル

戦国時代最大の軍師といわれた黒田官兵衛が築城した日本三大水城のひとつ。長篠の戦いで実際に使用された武具や歴代藩主着用の甲冑、陣羽織、徳川家康直筆の書など貴重な家宝が公開されています。

住 中津市ニノ丁　電 0979-22-3651
営 9:00～17:00　休 なし

サッポロビール 九州日田工場 日田市

出来たてを その場でいただける贅沢



水郷の清らかな水を使ったビール工場では、製造工程見学や試飲ができるほか、出来たて生ビールを味わえる。レストランや地元の名産品がそろう物産館も。

住 日田市大字高瀬6979
電 0973-25-1100
営 10:00～17:00
休 月・火曜（祝日の場合は翌日・翌々日）、年末年始、臨時休館あり

いいちこ日田蒸留所 日田市

山紫水明の地で醸される 原酒の深み



清らかな水で育まれる酒は、豊かな香りとまろやかなコク、深みが特長。焼酎の製造施設の見学や試飲もできる。関連グッズも販売。

住 日田市大字西有田810-1
電 0973-25-5600
営 10:00～16:00
休 火曜（祝日の場合は営業）、盆、年末年始

慈恩（じおん）の滝 日田市 玖珠町

マイナスイオンを たっぷり浴びよう！



日田市天瀬町と玖珠町の境にある滝。滝の裏側を通れるので、別名「裏見の滝」とも呼ばれている。落差30mの名瀑は迫力満点でちょっとしたアトラクション気分が楽しめる。

住 玖珠町山浦618
　日田市天瀬町杉河内1546-2
電 0973-72-1313（玖珠町観光協会）
　0973-57-2166（日田市観光協会天瀬支部）

地底博物館 鯛生（たいお）金山 日田市

ゴールドラッシュに思いを馳せる 近代化産業遺産



東洋一の大金山であった鯛生金山が地底博物館としてよみがえった。かつての坑道で再現された坑内作業の見学や、砂金採り体験が楽しめる。

住 日田市中津江村合瀬3750
電 0973-56-5316
営 9:00～17:00（3～11月）、10:00～16:30（12～2月）
休 1月1日 ※ほか季節に応じた定休日あり（HPにて要確認）

日田祇園山鉾会館 日田市

国重要無形民俗文化財指定 日田祇園の曳山行事



毎年7月に開催される日田祇園祭で巡行する、豪華絢爛な山鉾や「水引」など、祭りに関する資料を展示している。平成28年に日田祇園の曳山行事がユネスコ無形文化遺産に登録。

住 日田市隈2-7-10
電 0973-24-6453
営 9:00～17:00
休 水曜（祝日の場合は翌日）、12/29～1/3

三隈川（みくまがわ） 日田市

水郷のまちの主流となる 大河の流れ



九州一の大河、筑後川は日田地域では三隈川と呼ばれる。支流が市内で合流し、水郷日田の美しい景観をつくり出す。花火や屋形船、鮎やな場、鵜飼いなど、四季折々の川辺の風物詩がある。

電 0973-22-2036（日田市観光協会）

小鹿田焼（おんたやき）の里 日田市

人と自然が織りなす、 ぬくもりの陶郷



江戸時代中期に開窯された小鹿田焼。一子相伝で約300年にわたり継承されている。静かな里を歩けば、あちこちで響く唐臼の音が、不思議と心を落ち着かせてくれる。

住 日田市源栄町皿山
電 0973-29-2020（小鹿田焼陶芸館）

咸宜園（かんぎえん） 日田市

幕末維新の重要人物を 多く輩出した学び舎



文化14年（1817）に廣瀬淡窓の開いた私塾で、身分を問わず広く門戸を開き明治30年まで教育が続けられた。蘭学者の高野長英などが門下生。

住 日田市淡窓2丁目2-13
電 0973-22-0268
営 9:00～17:00（最終入館16:30）咸宜園教育研究センター
休 12/29～1/3
※咸宜園教育研究センターは水曜（祝日の場合はその翌日）

旧久留島氏庭園（国の指定名勝）
玖珠町

玖珠を治めた森藩ゆかりの庭園や史跡が残る



玖珠町の藩主が作り上げた庭園で、藩主御殿庭園、栖鳳楼庭園、清水御門庭園の3つからなる。四季折々で美しい眺望を楽しむことができるスポット。

住 玖珠町森
電 0973-72-7153（玖珠町商工観光政策課）

道の駅 童話の里くす
玖珠町

大きな桃太郎たちがお出迎え



童話の里らしい、可愛い桃太郎のオブジェが目印。朝採れの新鮮な野菜や玖珠米など、特産品がずらりと並ぶ。地元食材を利用したレストランや、童話にちなんだオリジナルのパンも人気。

住 玖珠町大字帆足2121
電 0973-72-5535
営 9:00～18:00（レストラン10:00～17:00）、12月～2月は9:00～17:00　休 年末年始

伐株山（きりかぶさん）
玖珠町

愛らしい山容がシンボル。民話が息づく身近な山



伐り株のような山容で巨木の伝説が残る玖珠町のシンボルは、頂上まで車で行くことが出来るのが魅力。頂上からは眼下に美しい玖珠盆地が広がり、パラグライダーで大空に飛び立つこともできる。スリル満点のブランコも人気。

電 0973-72-7153（玖珠町商工観光政策課）

谷河内の景（たにごうち）
玖珠町

日本遺産に認定された景勝地



日本遺産にも認定された地域で、紅葉と奇岩が織りなす美しい景色が広がる。七福神として奉られている奇岩“東奥山七福神”も必見。近くの『里の駅七福堂』では、地元農家の朝採り高冷地野菜や農産物の加工品、玖珠町の特産物などを販売している。

住 玖珠町森宇戸
電 0973-72-0205（里の駅 七福堂）

展望休憩舎「KIRIKABU HOUSE」
玖珠町

天気の良い日は玖珠町を一望できる絶景展望舎



クルーズトレイン「ななつ星in九州」で知られる水戸岡鋭治氏デザインの休憩スポット。伐株山（きりかぶさん）山頂からの大パノラマを眺めながら、贅沢な時間を過ごせる。

住 玖珠町大字山田
電 0973-72-7153（玖珠町商工観光政策課）

立羽田の景（たちはた）
玖珠町

おとぎ話の世界のような幻想的な景勝



立ち並ぶ奇岩と周囲の風景が山水画の世界を思わせる名勝地。天を突き刺すような荒々しい岩肌に、色鮮やかな木々と麓の田園風景が調和した、迫力ある美しさに思わずため息が出てしまう。近くの「立羽田ふれあい市場」では、地元農産物や加工品を販売している。

住 玖珠町古後　電 0973-72-7153（玖珠町商工観光政策課）

森の街並み
玖珠町

当時の面影を残す小さな小さな城下町



現在の森町を中心として栄えていた森藩は、豊後八つの藩の中で最も小さい藩でした。周辺には藩主御殿庭園や清水御門栖鳳楼など文化の薫る建造物が今もその姿をとどめています。小藩ながら雅な華を咲かせた森藩。町の一角には往時の面影が色濃く残っています。

住 玖珠町大字森
電 0973-72-7153（玖珠町商工観光政策課）

三日月の滝公園
玖珠町

家族で楽しめる自然体験が充実のレジャースポット



落差10mの滝の落ち口が三日月の弧を描いていることから名づけられた三日月の滝。公園内には長屋風の宿泊棟、貸別荘風の離れ宿、オートキャンプ場、パークゴルフ場、温泉がある。その他、釣り等の川遊びやBBQも楽しめる。

住 玖珠町大字山浦115-1
電 0973-77-2278

福澤諭吉旧居・記念館
中津市

慶應義塾大学創始者のルーツを探る



諭吉が19歳までの幼少年期を過ごした旧居で、母屋と勉強をした土蔵が残る。記念館では「学問のススメ」の初版本や一万円の1号券などを展示。

住 中津市留守居町586
電 0979-25-0063
営 9:00～17:00（入館受付16:30まで）
休 12/31

道の駅やまくに
中津市

自然に囲まれた立ち寄りスポット



国道212号線沿いに位置する「清流・緑・ホタル」をテーマにした道の駅。食事処では美味しいそばやうどんなど、ふるさと料理が味わえる。また併設する物産館では、山国町やその周辺地域の特産品や新鮮野菜などを販売。

住 中津市山国町中摩3485-4
電 0979-62-3680
営 9:00～16:00（食事処11:00～14:00）　休 なし

競秀峰・青の洞門（きょうしゅうほう）
中津市

当時の姿のまま残る手掘りのトンネル



耶馬渓の代表的な景勝地で、山国川右岸に岩峰群が屹立する。その競秀峰を僧・禅海が30年の歳月をかけて、のみと槌だけで掘り進めた青の洞門は、菊池寛の小説「恩讐の彼方に」のモチーフ。

住 中津市本耶馬渓町曽木
電 0979-52-2211（中津市本耶馬渓支所）

合元寺（ごうがんじ）
中津市

伝説が残る歴史深い寺



赤壁寺の異名どおり、真っ赤な壁の寺。宇都宮鎮房を誘殺した際、従臣たちの血で染まった壁は塗り替えても血痕が消えなかったといわれる。

住 中津市寺町973
電 0979-22-2037
営 8:00～18:00ごろ

メイプル耶馬サイクリングロード
中津市

旅の思い出づくりにおすすめ！絶景サイクリング



旧耶馬渓鉄道跡を利用したサイクリングロードで、JR中津駅から山国町守実まで山国川に沿って約36km続く道路。勾配が緩やかで、2人乗り用自転車などもあり、家族みんなでサイクリングが楽しめる。レンタサイクルは指定箇所で事前予約・乗り捨ても可能。

電 0979-54-3111（中津市耶馬渓支所）
0979-54-2700（耶馬渓サイクリングターミナル）

羅漢寺
中津市

天空にそびえる中津のパワースポット



荒々しい岩肌の羅漢山の中腹にあり、岩窟の中に埋め込むように本堂が立っている。洞窟には五百羅漢や3,700体以上の石仏が安置されている。

住 中津市本耶馬渓町跡田1519
電 0979-52-2538
営 9:00～17:00

深耶馬渓（しんやばけい）
中津市

切り立った岩峰にあでやかな紅葉が燃える



季節を通じて新緑や紅葉など、自然の鮮やかな景観を見せる深耶馬渓。一度に8つの景色を眺望できることからその名前がついた「一目八景」をはじめ、麗谷、錦雲峡、折戸の景などの絶景があちこちに。

住 中津市耶馬渓町大字深耶馬
電 0979-54-3111（中津市耶馬渓支所）

猿飛千壺峡（猿飛甌穴群）（さるとびせんつぼきょう　さるとびおうけつぐん）
中津市

ほかでは見られない水と岩が織りなす名勝



延長約2kmに及ぶ渓谷は、山国川の清流と河床一帯に広がる変朽安山岩、石ころの三位一体で生まれた自然の造形物。渓流が造り上げた大小無数の甌穴が峡底に広がる。国指定天然記念物。

住 中津市山国町草本
電 0979-62-3111（中津市山国支所）

くにさき六郷温泉
山香温泉
国見温泉
拍子水温泉

宇佐・国東半島エリア

豊後高田市・杵築市・宇佐市・国東市・姫島村



両子寺（国東市）
かつて六郷満山の総持院として全山を統括していた国東半島を代表する寺。

歴史遺産にふれる千年ロマン時の旅

時代を超えて仏の里で歴史ロマンを体感

千年を超える歴史の流れが一挙に体感できるのは、この千年ロマンエリアが日本唯一かもしれません。

六郷満山文化と呼ばれる独自の文化が花開いた、宇佐・国東半島。時代をさかのぼり、仏の里、城下町、昭和の町、伝説の島へ、ロマンを求めて訪ねてみませんか。

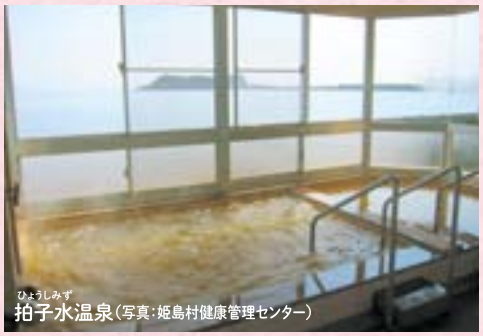
古事記でイザナギとイザナミが生んだ島の一つとされる姫島や、奈良・平安時代から宇佐神宮の八幡信仰と深い結び付きを持ち、神仏習合の六郷満山文化が根付く国東半島。それぞれの物語を紡いできた表情豊かな城下町が残り、また温かさと懐かしさ漂うレトロな昭和の町等が、訪れる人々をひとときのタイムトリップに誘います。



宇佐神宮（宇佐市）
必勝祈願の神様として知られる県内屈指のパワースポット。（P32）



宇佐からあげ（宇佐市）
宇佐市は「からあげ専門店」発祥の地。店ごとに秘伝のタレで味付けし、アツアツはもちろん、冷めてもおいしい。



拍子水温泉（写真：姫島村健康管理センター）
浴室の大きな窓からは青い海が。高血圧症や神経痛等に効果があるといわれ、飲泉もできる。



国見温泉（写真：湯の里 渓泉）
無色透明の湯が湧き、昔から湯治場として親しまれている。



姫島車えびしゃぶしゃぶ（姫島村）
さっとお湯にくぐらせたしゃぶしゃぶは、ぷりっぷりの食感と上品な甘みが口に広がります。他にも、踊り食いや刺身、塩焼き、フライ等いろんなメニューで美味しさを味わうことができます。



豊後高田そば（豊後高田市）
豊後高田産のそば粉を使用した、香り高いそば。ひきたて、打ちたて、ゆでたてのそばが堪能できる。

すっぽん料理（宇佐市）
地元のすっぽんを使い、コラーゲンたっぷりの鍋、から揚げ、刺身、雑炊などが食べられる。





杵築ど～んと丼・きつきサンド（杵築市）
地元産の海の幸・山の幸、特産品を使用した、地産地消グルメ。個性光る丼（写真は新鮮な魚介と野菜がのったリゾット風鉄板丼）や城下町にちなんだサンドが認定店で食べられる。



銀たち（国東市）
ふんわりとした身の美味しいタチウオが味わえる。「道の駅くにさき」でどうぞ。

お土産



姫島ひじき（姫島村）
茹でて天日乾燥させたもの。やわらかくておいしい、お土産に喜ばれる逸品。



きつき茶（杵築市）
厳選した茶葉を使用し、独特な製法で旨味とコクを出したお茶。



姫島車えび（姫島村）
全国に名が知られ、活き・味の良さで定評あり。ぷりぷりとした食感が楽しめる。



しいたけ（国東市）
原木栽培法で育った低温菌しいたけは、風味豊かなダシの旨さが違う。



ハウスみかん（杵築市）
甘みと果汁の多さが特長。黄金色の実は4～9月に出荷される。



くにさき姫だこ（国東市）
刺身、から揚げ、ゆでだこ、たこ飯などさまざまな料理があり、噛めば噛むほど旨味が口の中に広がる。

心清らかに・・・タイムトリップコース

国東半島は数々の神秘が潜むエリア。
じっくりゆっくり巡って、御利益をいただきましょう。



両子寺 ← フェリーで20分 車で30分 ← 姫島村散策 ← 車で20分＋フェリーで20分 ← 豊後高田市泊 ← 恋叶ロード ← すぐ ← 昭和の町散策 ← 車で15分 ← 宇佐神宮 ← 車で40分 ← 杵築城下町散策

足曳山 両子寺（あしびきざん ふたごじ）

国東半島を代表する仁王像がお出迎え



国東半島の中央部にあり、六郷満山の総寺院として総括を担ってきた由緒ある古寺。山門に続く石段の両脇には、半島最大級の仁王像が立っています。座禅や写経体験もできるのでぜひ！

住 国東市安岐町両子1548
電 0978-65-0253
営 8:00～17:00、8:30～16:30（冬期）

姫島村へ

七不思議伝説の残る神秘の島



大分県唯一の村である姫島村は、歴史的にも由緒のある島で、古事記や日本書紀にも姫島に関することが記されています。「姫島七不思議」や「おおいた姫島ジオパーク」巡りを楽しもう！（P43）

車で30分 → 大分空港へ

ステキな出会いがあるかも…





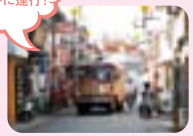


「昭和の町」をスタートして長崎鼻まで続く国道213号線が「恋叶ロード」として注目を浴びています。縁結びの神様として知られる「粟嶋社・粟嶋公園」や「花とアートの岬・長崎鼻」（P32）、幻想的な夕陽を望む「真玉海岸」などロマンティックな気分でドライブが楽しめます。

電 0978-23-1860（豊後高田市観光まちづくり（株））

古くて懐かしいまちへタイムトリップ

ボンネットバスは日曜、祝日を中心に運行！



町中のいたるところにレトロで可愛い建物や看板が立ち並ぶ昭和の町。「ナミヤ雑貨店の奇蹟」や「坂道のアポロン」など、映画のロケ地にもなっています。昭和30年頃のおもちゃや駄菓子などがぎゅっと詰まった『昭和ロマン蔵』はまさに昭和の宝箱！

住 豊後高田市新町989-1
電 0978-23-1860（豊後高田市観光まちづくり（株））

きもの姿で城下町めぐり



きものに着替えて気分は江戸小町！『レンタルきもの和楽庵』（P34）で着付けをしてもらって、重要伝統的建造物群保存地区に選定された坂道の城下町を散策しましょう。きもの姿で町を散策すると、公共観光文化施設の入館料が無料になり、市内店舗で食事割引・粗品進呈などの嬉しいサービスもあります。

住 杵築市杵築372-4
電 0978-63-1210（レンタルきもの和楽庵）



宇佐神宮

荘厳な雰囲気に包まれた八幡社の総本宮

全国に4万社余りある八幡社の総本宮で、伊勢神宮に次ぐ第2の宗廟とされています。神仏習合（しんぶつしゅうごう）発祥の地でもあり、「八幡造」の本殿は国宝に指定されています。

住 宇佐市大字南宇佐2859
電 0978-37-0001
営 5:30～19:00、6:00～19:00（10～3月）

真木大堂（まきおおどう）

豊後高田市

平安時代の至宝がそろう古刹



六郷満山本山本寺の一つであった馬城山伝乗寺の跡。収蔵庫には阿弥陀如来坐像をはじめ、国指定重要文化財指定の9体の仏像を収蔵している。

住 豊後高田市田染真木1796
電 0978-26-2075
営 8:30～17:00

真玉温泉 山翠荘（またまおんせん さんすいそう）

豊後高田市

やわらかな泉質の炭酸水素塩泉



毎分400ℓの天然温泉が自噴する国東の古湯。レストランや宿泊施設も充実。大浴場や露天風呂、貸切風呂、ジェットバスなどがある。

住 豊後高田市城前156-1
電 0978-53-4390
営 10:00～22:00
休 第2・4火曜（祝日は翌日休）・宿泊は無休

くにさき六郷温泉 夷谷温泉（えびすだに）

豊後高田市

静かな山里にある温泉



夷耶馬などの風光明媚な自然に囲まれ、のどかさと泉質の良さで人気の温泉。褐色の湯はナトリウム・カルシウム硫酸塩泉で、神経痛・筋肉痛・関節痛などの効能があるといわれており、湯治としての利用も多く見られる。

住 豊後高田市夷1851-1
電 0978-54-2995
営 10:00～22:00
休 第2・4月曜（祝日は翌日休）

富貴寺（ふきじ）

豊後高田市

九州最古の木造建築で大堂は国宝



天台宗の古刹で大堂は日本三阿弥陀堂の一つ。現存する木造建築物としては九州最古で国宝に指定。本尊の阿弥陀如来坐像は重要文化財。

住 豊後高田市田染蕗2395
電 0978-26-3189
営 8:30～16:30

大原邸（おおはらてい）

杵築市

上級武士の暮らしぶりを垣間見る



茅葺屋根が目を引く家老屋敷「大原邸」。観音開きの長屋門や重厚な玄関の式台から格式の高さがうかがえる。優雅な回遊式庭園を備える。

住 杵築市杵築207
電 0978-63-4554
営 9:00～17:00（入館は16:30まで）
休 なし

杵築城（きつきじょう）

杵築市

600年にわたって城下町を見守り続ける



応永元年（1394）、木付頼直が築城。現在の天守閣は昭和45年に建築され、中は資料館になっている。天守閣からは守江湾の美しい景色が広がる。

住 杵築市杵築16-1
電 0978-62-4532
営 9:00～17:00（入館は16:30まで）
休 なし

チームラボギャラリー真玉海岸

豊後高田市

花と人、コントロールできないけれども、共に生きる
–Kunisaki Peninsula



チームラボによる参加型のデジタルアート作品。国東半島の花々をモチーフにしており、1年間の花の移り変わりを1時間で表現している。

住 豊後高田市臼野4467-3
電 0978-23-1860（豊後高田市観光まちづくり（株））
営 13:00～19:00
休 時期によって異なる（詳細はHP）

長崎鼻リゾートキャンプ場・海水浴場

豊後高田市

花とアートのリゾートキャンプ場♪



春には約2,200万本の菜の花、夏には約160万本のひまわりが咲く。アート作品も点在しており、海水浴場ではキャンピングトレーラーに宿泊もできる。カフェレストランやショップも常設。

住 豊後高田市見目4060
電 0978-54-2237（森ゾーン）、0978-25-5123（海ゾーン）

道の駅くにさき

国東市

国東半島を巡るなら まずはここから



国東の魅力がつまった観光拠点。白砂青松の美しい海岸の眺望を楽しめる。旬の野菜や民芸品の直売所、レストランやサイクリングターミナル、国東市観光案内所がある。

住 国東市国東町小原2662-1
電 0978-72-5168
営 8:30～17:00、レストラン11:00～15:00（銀たちの郷・夢咲茶屋）
休 年末年始

国見温泉 あかねの郷

国東市

緑深い六郷満山の 山々を眺める憩いの湯



大自然の中で開放感あふれる露天風呂で癒やしのひとトキを。季節の魚介類や山菜料理も楽しめ、キッチンを備えたコテージは家族連れに人気。

住 国東市国見町赤根2064-3
電 0978-82-1571
営 11:00～20:00
休 火曜

きつき衆楽観（しゅうらくかん）

杵築市

杵築の観光情報も集まる 芝居小屋



大正時代の酒蔵を改修した大衆演劇場。旅役者と呼ばれる劇団が華麗な芝居やショーなどの公演を行う。特産品販売コーナーやお食事処も。

住 杵築市杵築398-1
電 0978-66-1112
営 9:00～18:00（月～金）、9:00～21:00（土・日・祝日）
休 毎月末日

酢屋の坂・塩屋の坂（すや しおや）

杵築市

土塀、石垣、石畳の 調和がとれた美しさ



高台の北台武家屋敷と南台武家屋敷を繋いだ杵築を代表する2つの坂で、映画やドラマの撮影も行われる美しさ。坂の途中からは「日本唯一のサンドイッチ型城下町」と呼ばれる由縁である凹凸の形状がよく分かるスポット。

住 杵築市大字杵築
電 0978-63-0100（杵築市観光協会）

九州自然動物公園 アフリカンサファリ

宇佐市

国内屈指の人気を誇る サファリパーク



約70種1400頭の野生動物が自然の中で暮らす日本最大級のサファリパーク。ジャングルバスから直接エサを与えたり、小動物とふれあうこともできる。

住 宇佐市安心院町南畑2-1755-1
電 0978-48-2331
営 10:00～15:30（11～2月）、9:00～16:00（3～10月）
休 なし

道の駅いんない

宇佐市

院内の美味しいものがズラリ!



日本一の石橋群密集度を誇る宇佐市院内町。「道の駅いんない」では新鮮な地元野菜のほか、ゆずを使った特産品なども満載。また、「レストランいしばし茶屋」では、宇佐からあげなど宇佐市ならではのメニューが人気。

住 宇佐市院内町副1381-2　電 0978-42-5539
営 8:00～17:00　休 なし

レンタルきもの和楽庵（わらくあん）

杵築市

華やかな「きもの」に着替えて 城下町散策



店内には約250種類の着物が並び、その中からお気に入りを選んで着付けまでしてくれるレンタル着物店。男性用、子ども用もあるので、みんなで楽しむことができます。杵築の城下町を「きもの」姿で巡ると様々な特典を得られます。

住 杵築市杵築372-4　電 0978-63-1210　※予約優先
営 10:00～16:00　休 水曜

るるパーク（大分農業文化公園）

杵築市

1日たっぷり過ごせる公園



中央にダム湖を臨み、フラワーガーデンや大型遊具、キャンプ場・コテージ、物産館、体験農園などさまざまな施設が複合的に揃う。春のネモフィラ、夏～秋のコキアは壮観!

住 杵築市山香町大字日指1-1
電 0977-28-7111
営 9:30～17:00（3～6月、10～11月）
9:30～18:00（7～9月）、10:00～16:00（12～2月）
休 火曜（祝日の場合はその翌日）、1/1 ※ただしGW、夏休み中は開園

岳切渓谷（たっきり）

宇佐市

四季の彩りが美しい 清流の沢下り



一枚岩の岩盤を流れる清流が約2km続き素足で沢歩きが楽しめる。春の新緑や秋の紅葉は美しく、夏場は涼やかな別天地として人気。

住 宇佐市院内町定別当
電 0978-42-5111
（院内支所 産業建設課 産業振興係）

東椎屋の滝

宇佐市

遊歩道からは新緑、紅葉と 四季の美しい景観が楽しめる



「日本の滝百選」にも選ばれた名瀑で、日光華厳（けごん）の滝に似ていることから、「九州華厳」と称されている。高さ85mの断崖を垂直に落下する、圧巻の光景は一見の価値あり。

住 宇佐市安心院町東椎屋
電 0978-34-4839（宇佐市観光協会安心院部会）

文殊仙寺（もんじゅせんじ）

国東市

648年開基の古刹で 厳かに仏と向き合う



飲むと知恵が授かるとされる「智恵の水」や「三人寄れば文殊の知恵」のことわざの発祥の地として有名。樹齢1000年以上の大ケヤキや豊かな自然林、紅葉等も見どころ。

住 国東市国東町大恩寺2432
電 0978-74-0820
営 8:00～日没

五辻不動（いつつじふどう）

国東市

六郷の歴史散策と 爽快な見晴らし



かつての山岳行者の霊場で、修行の場であった岩屋。遠くから見ると岩屋全体が砦に見え、両側はほぼ絶壁。散策気分で登ることができ、晴れた日は、姫島まで見渡せる絶景が楽しめます。

住 国東市国見町千燈
電 0978-72-5168（国東市観光協会）

里の駅 双葉の里

宇佐市

歴史に名を残す 昭和の大横綱の偉業と精神



前人未到の69連勝で語り継がれる双葉山定次の生家近くにある資料展示室。双葉山、白鵬、谷風の手形を刻んだ超六十連勝力士碑は必見。

住 宇佐市大字下庄269
電 0978-33-5255
営 9:00～17:00
休 第3月曜（祝日の場合はその翌日）、年末年始

大分県立歴史博物館・宇佐風土記の丘

宇佐市

神仏習合の文化と 歴史的背景を知りたいなら



宇佐・国東半島を中心に県内の歴史と文化を学ぶ博物館。古代仏教文化や六郷満山文化、宇佐八幡文化など、当時を伝える貴重な資料を展示。

住 宇佐市大字高森字京塚
電 0978-37-2100
営 9:00～17:00（入館は16:30まで）
休 月曜（祝日の場合はその翌日）、12/28～1/4

梅園の里（ばいえん）

国東市

温泉や天体観測も楽しめる 体験型スポット



春には梅や桜が咲き、秋には紅葉と四季折々の植物が楽しめる自然の中の宿泊施設を備えた体験型施設。レストランや入浴施設、県内最大の65cm反射望遠鏡を備えた天体観測施設もある。季節毎にさまざまなイベントを開催。

住 国東市安岐町富清2244　電 0978-64-6300
営 11:00～22:00（梅園の里）、13:00～22:00（天球館）　休 火曜

三浦梅園資料館

国東市

「梅園哲学」を大成した 哲学者の遺物を展示



豊後賢人とも呼ばれる江戸時代の学者、三浦梅園の遺品を数多く紹介。重要文化財の肖像画や天球儀、手沢本類（蔵書）も展示している。

住 国東市安岐町富清2507-1
電 0978-64-6311
営 9:00～17:00
休 月曜（祝日の場合はその翌日）、12/29～1/3



豊後二見ヶ浦（佐伯市）

夫婦岩の男岩と女岩にかかるしめ縄は、長さ65m、直径最大75cm、重さ2トンで日本一。
県内で有名な日の出スポットの一つ。
住 佐伯市上浦大字浅海井浦2

黒潮に育まれた豊後水道の幸を満喫

複雑に入り組んだリアス海岸が特徴的な豊後水道は、日本でも有数の好漁場。水揚げされる魚介類の種類はとにかく多く、活きの良さが違います。そんな旬の素材と、素材の旨さを最大限に引き出す職人の心技から生まれた佐伯寿司は、ネタが大きく、味は天下一品！　また、魚介がふんだんにのった海鮮丼の豪華さには、海の町ならではのおもてなしを感じることでしょう。

日豊海岸線沿いに車を走らせれば、津久見のマグロ料理や臼杵ふぐなどもあり、グルメ三昧の旅が過ごせます。

山の湯であったまろ



やよいの湯（佐伯市）
「道の駅やよい」の施設内にあり、緑に囲まれた露天風呂などが楽しめる。
住 佐伯市弥生大字上小倉898-1
電 0972-46-5841
営 10:30～23:00 休 第2火曜



唄げんかの湯 木浦名水館（佐伯市）
蓮光寺湧水を利用した湯は、やわらかくまろやか。
住 佐伯市宇目大字木浦鉱山399
電 0972-55-4154
営 10:00～19:00（4～10月）
10:00～18:00（11～3月）
休 水曜



かぶとむしの湯 鉱泉センター直川（佐伯市）
古くから鉱泉が湧出し、ガラス張りの窓からは、直川の山々が望める。
住 佐伯市直川大字赤木1252
電 0972-58-3311 営 10:00～22:00（5～9月）、10:00～21:00（10～4月）
休 木曜（祝日の場合はその翌日）、年末年始



臼杵 湯の里（臼杵市）
自然豊かな環境で自慢の大パノラマ露天風呂に入湯して1日ゆっくり出来ます。料理も無農薬野菜を使用しており、新鮮な魚など地元産にこだわった料理を提供しています。
住 臼杵市深田字中対田12組
電 0972-65-3711

お土産



津久見みかん（津久見市）
段々畑で育った、甘さと酸味のバランスがとれた逸品。



佐伯の干物（佐伯市）
アジの開き、イワシの丸干し、チリメン、イリコなど、新鮮な魚の旨味を凝縮。



佐伯ごまだしうどん（佐伯市）
魚の旨味とゴマの香ばしさが抜群で、栄養満点のおふくろの味。



ぴんころうどん（臼杵市）
野津産の甘太くん（甘藷）の葉を麺に練り込み、芋天を上にのせたヘルシーなうどん。



かぼすブリ（臼杵市・佐伯市）
大分県産のかぼすを餌に加えて育てることで、さっぱりとした肉質に。



黄飯・かやく（臼杵市）
クチナシの黄色に染まった黄飯と、野菜やエソで作った汁物のかやくは、江戸時代から続く郷土料理。



日豊海岸エリア

佐伯市・臼杵市・津久見市

驚来ケ迫温泉
六ケ迫鉱泉
臼杵温泉
直川鉱泉

獲れたて新鮮な海の幸グルメと潮風ドライブを満喫！

佐伯寿司（佐伯市）
豊後水道の荒波にもまれた鮮度抜群の魚をネタに、地物の旨さと寿司職人の技が光る。



臼杵ふぐ（臼杵市）
刺身ひと切れの身が厚く、口いっぱいに甘さが広がる。夏ふぐもあり、一年中贅沢に味わえる。

津久見ひゅうが丼（津久見市）
ごまだれベースのたれにマグロを和えて熱々のご飯にのせていただく漁師飯。大分県内のグルメイベントで2年連続金賞受賞した逸品。





伊勢えび（佐伯市）
漁が解禁となる9月からの3か月間、佐伯市と宮崎県延岡市で伊勢えび料理が堪能できるイベントが開催。新鮮でプリプリの伊勢えびが堪能できる。

モイカ（津久見市）
独特の甘みと食感から“イカの王様”とも呼ばれるモイカ。旬の時期には、定食や丼、チャンポンなど津久見市内の店舗で期間限定のモイカ料理が食べられるフェアが開催される。



歴史散策と海の恵みを堪能コース

古き時代の名残を感じるエリア散策と、可愛いイルカとの貴重な体験、そして忘れてはならない海鮮グルメ。日豊海岸を思いっきり満喫しましょう。



延岡市へ
車で60分
歴史と文学のみち
車で30分
佐伯寿司を堪能
車で30分
つくみイルカ島
車で約35分
臼杵城下町散策
車で約15分
国宝 臼杵石仏

歴史と文学のみち散策

城下町佐伯の歴史と文学を辿る



城山の麓に沿って続く通りは「日本の道百選」にも選ばれるほど情緒豊かなエリア。武家屋敷や明治の文豪・国木田独歩が下宿した家など歴史と文学の香りが漂います。

住 佐伯市大手町1丁目
電 0972-23-3400
（佐伯市観光案内所）

佐伯に来たならやっぱりお寿司！



佐伯市では、豊後水道の荒波にもまれ引き締まった身と脂ののった活きのよい魚と、地元の寿司職人の技が織りなす極上の寿司が味わえます。

電 0972-23-3400
（佐伯市観光案内所）

うみたま体験パーク つくみイルカ島

海の動物たちと仲良くなる！



イルカやアザラシ、ペンギンなど海の生きものと触れ合える体験型施設。里の駅「つくみマルシェ」も併設しています。

住 津久見市大字四浦2218-10
電 0972-85-3020　営 10:00～16:00
休 1月中旬～2月中旬

二王座歴史の道

古き時代を思わせる情緒ある界隈



狭い路地のいたるところに量感溢れる門構えの武家屋敷跡や白壁の土蔵、歴史ある寺院が軒を連ねています。城下町特有の面影を残す道は歴史散策にぴったり。無料休憩所となっている旧真光寺の2階から眺める景色も風情があります。

住 臼杵市二王座
電 0972-64-7130
（臼杵市観光協会）

臼杵城跡

キリシタン大名が築城した城跡



戦国武将 大友宗麟が築いた城。当時は、臼杵湾に浮かぶ丹生島の岩上に建つ四方を海に囲まれた天然の要害でした。現在は、二つの櫓と庭園の一部、石垣を残すほか、ポルトガル製大砲「国崩し」のレプリカを見ることが出来ます。また、県内有数の花見の名所としても有名です。

住 臼杵市大字臼杵91
電 0972-64-7130（臼杵市観光協会）

国宝 臼杵石仏



わが国を代表する石仏群

平安後期から鎌倉時代に掘られたといわれている石仏。平成7年に磨崖仏では全国初、彫刻としても九州初の国宝に指定されました。周辺には四季折々の花が咲き、特に夏に咲く蓮の花は素晴らしい美しさです。

住 臼杵市大字深田804-1
電 0972-65-3300
営 9:00～17:00
休 なし

城下町佐伯 国木田独歩館（くにきだどっぽ）

佐伯市

若き文豪が過ごした日々に思いを馳せる



明治時代に建てられた旧坂本邸で、文豪・国木田独歩が教師として居住し、佐伯にちなんだ作品を生み出した場所。当時の写真をもとに再現された庭園や独歩の作品とともに記念館として公開している。

住 佐伯市城下東町9-37
電 0972-22-2866　営 9:00～17:00（受付は16:30まで）
休 月曜（祝日の場合はその翌日）、年末年始

海の市場○（まる）

佐伯市

佐伯の海産物が大集合！



魚市場から毎朝水揚げされたばかりの鮮魚に干物、新鮮野菜、パン、和菓子など地元の魅力的な商品が揃う。惣菜コーナーではボリューム満点のにぎり寿司や巻き寿司が大好評。

住 佐伯市葛港3-21　電 0972-22-0007
営 9:30～18:00　休 元日

空の公園

佐伯市

紺碧の豊後水道を望む高台で深呼吸



ドライブに最適な「豊後くろしおライン」の峠に位置し、標高250mの高台から眺める豊後水道の景色は息をのむ美しさ。

住 佐伯市米水津大字色利浦
電 0972-35-6111
（佐伯市米水津振興局）

たかひら展望公園

佐伯市

頂からきらめく海を眼下に見下ろす



高台から絶景が一望でき、雄大な大自然を体感できる。ノジギク（11月頃）が咲き誇るサイクリングロードやキャンプ場もある。

住 佐伯市蒲江
大字竹野浦河内2156-171
電 050-5527-1821

塩湯（しおゆ）

佐伯市

海沿いならでは！海水を沸かしたお風呂



海沿いに位置する施設で、海水を沸かした湯が楽しめる。ミネラルをたっぷり含んだ湯はベタつかず、肌がすべすべに。窓からは雄大な海が見渡せて開放感抜群！

住 佐伯市上浦浅海井浦2920-3
電 0972-27-8309
営 10:00～20:30　休 水曜

茶室汲心亭（きゅうしんてい）

佐伯市

城山を借景に心づくしのお茶をいただく



佐伯城の米蔵跡にある茶室。美しい庭園を見ながら、趣深い「更深軒」や「五味庵」で一服のお茶をいただき、和の風情に浸ってみては。

住 佐伯市城下西町3-13
電 0972-24-3905
営 9:00～17:00
休 月曜（祝日の場合はその翌日）、12/29～1/3

城山（しろやま）

佐伯市

市民に愛される憩いの散策スポット



毛利高政によって築城された鶴屋城跡で、眼下には市街地や清流番匠川、佐伯湾を望む。天守閣跡のある頂上まで続く4つの登山道があり、四季折々の自然の姿が楽しめる絶好の散策スポット。

住 佐伯市大手町
電 0972-23-3400（佐伯市観光案内所）

鶴御崎自然公園（つるみざき）

佐伯市

最初の日の出はここから九州最東端の地



九州最東端、200mの絶壁に立つ白亜の鶴御埼灯台がシンボル。紺碧の海に真っ白な灯台が映える美しい景色が広がる。

住 佐伯市鶴見大字梶寄浦549-2
電 0972-33-1111
（佐伯市鶴見振興局）

四浦半島展望台（ようらはんとう）

津久見市

海岸線ドライブの最適な休憩スポット

眼下には日豊海岸国定公園の美しいリアスの海。津久見湾に浮かぶ島々だけでなく、遠く四国まで見渡せる大パノラマが広がる。



住 津久見市大字四浦
電 0972-82-9521（津久見市観光協会）

風連鍾乳洞（ふうれん）

臼杵市

自然がつくり出す神秘的な鍾乳石は圧巻

風化が少ないため、純白に近い光沢を放ち続けている閉塞型の鍾乳洞。石筍群が100本以上そびえる、高さ10m周囲16mの競秀峰は必見。



住 臼杵市野津町大字泊1632
電 0974-32-2547
営 9:00～17:00（3～10月）、9:00～16:00（11～2月）
休 なし（天候により休館する場合あり）

元猿海岸（もとざる）

佐伯市

海岸植物が咲き誇る砂丘が美しい海水浴場

マリンカルチャーセンターや高山海岸に隣接した美しい砂浜。春から夏にかけてハマユウのほか、希少な植物も多く見られ、海水浴場としてもにぎわう。「日本の渚100選」の一つ。



住 佐伯市蒲江大字竹野浦河内
電 0972-42-1111（佐伯市蒲江振興局）

藤河内渓谷（ふじがわち）

佐伯市

一枚岩が削られた奇観と清冽な水の幽谷美

手つかずの大自然と清らかな水、美しい渓谷美は息をのむほど。観音滝を始点に一枚岩の甌穴群（おうけつぐん）が広がる。



住 佐伯市宇目大字木浦内
電 0972-52-1111（佐伯市宇目振興局）

保戸島（ほとじま）

津久見市

異国のような島の雰囲気が旅情を誘う

津久見沖、豊後水道に浮かぶマグロ漁で栄えた島。海岸から山肌に3、4階建ての住居がひしめくさまは外国の漁港を思わせる。「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」に選定されている。



住 津久見市大字保戸島
電 0972-82-9521（津久見市観光協会）

黒島（くろしま）

臼杵市

リゾート気分が味わえる舟で5分のアイランド

臼杵湾内に浮かぶ周囲3km、標高27mの小さな島で、佐志生港より渡し舟を使い、約5分程度で到着する。環境省による「海水浴場百選」に選定されており、6月上旬から8月末までの間は、海水浴やキャンプなどが楽しめる。



住 臼杵市佐志生尾本
電 0972-64-7130（臼杵市観光協会）

稲葉家下屋敷（いなばけしもやしき）

臼杵市

武家屋敷の様式を色濃くとどめた屋敷

明治35年（1902）に建てられた、旧臼杵藩主稲葉家の邸宅。杉や檜など上質な素材を使用し、式台のある玄関や、書院作り奥座敷など格式の高い造りから、国登録有形文化財に指定されている。



住 臼杵市臼杵6-6
電 0972-62-3399

大水車の郷

佐伯市

直径18.18m！木造の大水車である

その昔、佐伯市本匠では農作業の動力源として数多くの水車があったことから、当時の趣きと九州屈指の清流である番匠川のモニュメントとして作られた。隣接して鍾乳洞やキャンプ場、食事処あり。



住 佐伯市本匠小半
電 0972-56-5111（佐伯市本匠振興局）

どんなもんだい うみえーる・つくみんち

津久見市

ピチピチなうまいもん大集合

津久見港の埋立地にある物産館。津久見の特産品であるみかんなどの農産物や、新鮮な魚介類やまぐろの加工品、ぎょろっけなど多く取り揃えている。お食事処では、新鮮な海産物を使った料理などが味わえる。



住 津久見市高洲町3824-69
電 0972-85-0001（1階）、0972-85-0008（2階）
営 9:00～18:00（1階）、11:00～14:00（2階）
休 年末年始（1階）、不定（2階）

宗麟公園（そうりん）

津久見市

大分を代表する戦国大名の終焉の地

戦国大名として豊後の国を統治した大友宗麟が終焉を迎えた地、津久見。キリシタン大名で知られることから、建築家・磯崎新氏設計でキリスト教式の墓が建てられている。



住 津久見市大字津久見字ミウチ4198-1
電 0972-82-9521（津久見市観光協会）

リーフデわんぱーく

臼杵市

カラフルな遊具が目を引く総合運動公園

慶長5年（1600）のオランダ船リーフ・デ号到着を記念して名付けられた公園。リーフデ号を模した大型遊具や、オランダ風車小屋をイメージした全長36mのローラー滑り台、フィットネス遊具など、子どもから大人まで楽しく遊べる。



住 臼杵市大字諏訪790
電 0972-63-1111（臼杵市建設課）

久家の大蔵（くげのおおくら）

臼杵市

白壁に映える伝統的装飾絵タイル

江戸時代後期より酒の貯蔵庫として利用されていた建物で、現在はギャラリーとして開放している。蔵の外壁や内部には、ポルトガルの著名な作家・ロジェリオ・リベイロ氏による伝統的装飾絵タイル“アズレージョ”が施されている。



住 臼杵市浜町
電 0972-63-1111（臼杵市産業観光課）

つくみん公園

津久見市

“海遊王国”で思いっきり遊ぼう！

津久見市の中心部にあるつくみん公園は“海遊王国”がモチーフ。海や魚をイメージした、ユニークでカラフルな大型の遊具や、青々とした芝生が敷き詰められたイベント広場、となりには海があり景色も最高。津久見で人気の観光スポットとなっている。



住 津久見市港町4142-153
電 0972-82-4111（津久見市まちづくり課）

高浜海水浴場

津久見市

青く澄み切った海岸で海水浴が楽しめる

四浦半島の先端部にある「高浜海水浴場」は、透明度が高く、きれいな砂浜が広がる、県内でも有数の美しい海水浴場で、夏にはウミガメも産卵に訪れることがある。シーズンには、市内外から多くの海水浴客が訪れる。



住 津久見市大字四浦高浜
電 0972-82-9521（津久見市観光協会）

吉四六ランド（きっちょむ）

臼杵市

大人も子どもも楽しめる総合レジャーパーク

園地内には約2000本のソメイヨシノがあり、県下有数の桜の名所。多目的グラウンド、野球場、テニスコート、屋外ステージ等を備えている。



住 臼杵市野津町大字原326
電 0974-32-2270（野津中央公民館）

野上弥生子文学記念館（のがみやえこ）

臼杵市

大分を代表する女流作家の足跡をたどる

1971年文化勲章受章。館内には、少女期の勉強部屋や直筆原稿の他、夏目漱石に師事した関係で漱石に関係する資料なども展示されている。また、「ハイヂ」を日本で最初に翻訳したことでも知られている。



住 臼杵市浜町538　電 0972-63-4803
営 9:30～17:00
休 なし


熊野磨崖仏（豊後高田市）

ちょっとツウなテーマでめぐる

2018年（平成30年）開山1300年を迎えた 六郷満山（ろくごうまんざん）文化の旅 《国東半島宇佐地域（くにさき）》

この地で生まれた独特の信仰の歴史と文化をたどる

神を仏とし、仏を神とする―。宇佐神宮で生まれた八幡信仰が、やがて古代仏教と融合し、神仏習合（しんぶつしゅうごう）という類い稀なる文化が生まれました。やがて、国東半島では、養老2年（718）に宇佐八幡神の化身といわれる仁聞（にんもん）菩薩により、山岳仏教である「六郷満山文化」が花開いたといわれています。〝仏の里〟と呼ばれるこの地域は、数多くの神社仏閣や、独特の石造物などが随所に見られる文化財の宝庫としても知られています。


文殊仙寺（国東市）


富貴寺（豊後高田市）


修正鬼会（豊後高田市・国東市）


真木大堂（豊後高田市）


両子寺（国東市）

キリシタン南蛮文化をたずねる旅

キリシタン大名で有名な大友宗麟。彼の庇護の下、大分県ではキリシタン文化が栄えました。キリシタン南蛮文化のロマン溢れる文化遺産は、県内各所に存在しています。


キリシタン洞窟礼拝堂（竹田市）
竹田市には県下有数のキリシタン遺跡が。不遇の時代に秘かに守り通してきた貴重な遺物や遺跡が数多く残されています。


国見ふるさと展示館（国東市）
国東市は、江戸時代初期、日本人として初めて聖地エルサレムを巡礼したペトロ・カスイ岐部の生誕の地。記念公園があり、国見ふるさと館では資料展示も。隣接するお食事処『城山亭』では、ゆっくりと食事を楽しめます。


竹田キリシタン研究所・資料館（竹田市）
県内初のキリシタン研究所。竹田市に受け継がれる「キリシタン遺物」や貴重な資料の展示・保存、市内観光の総合ガイダンスの施設です。


トラピスト修道院（日出町）
高い丘に立ち、別府湾を一望できるトラピスト修道院。バターの香り漂うクッキー直売店があり、修道院展示室の見学もできます。

九州初 国東半島峯道（みねみち）ロングトレイル

豊後高田市 国東市

国東半島で古くから行われてきた10年に1度の六郷満山峯入行（ろくごうまんざんみねいりぎょう）をベースに、トレッキングやウォーキングの醍醐味を味わうことができるトレイルとして再構築。鎖を頼りに岩場を渡る中山仙境や、そそりたつ岩峰が迫る大不動岩屋など、修験道ならではの道のりを歩きます。




田染荘（たしぶのしょう）

世界に誇る農林水産循環システム

世界農業遺産

豊後高田市 杵築市 宇佐市 国東市 姫島村 日出町

昔から水の確保が困難だった国東半島で水田農業を営むために、日本一の蓄積量を誇るクヌギ林と複数のため池が連携したシステムが、先人の知恵により生まれました。里山の良好な環境や景観保全、原木しいたけ生産、国内唯一の七島イ生産など、多様な農林水産業を担ったことなどが評価され、平成25年にクヌギ林とため池がつなぐ「国東半島・宇佐の農林水産循環」として、世界農業遺産（GIAHS）に認定されました。

個性的な国東の芸術にふれる

国見町工房ギャラリーめぐり

国東市

国東市は、洋画家の江藤哲や陶芸家の河合誓徳（せいとく）、竹工芸の田辺幸竹斉（こうちくさい）など、数々の芸術家が誕生した場所。不思議と県外から多くのアーティストが集まる場所でもあります。創作屏風や木工家具、陶芸やガラス工芸などを見て回ることができます。


涛音寮（とういんりょう）


ラパロマ

伝説の島で不思議に出会う

姫島に渡ろう《姫島村》

瀬戸内海に抱かれた姫島村は、イザナギとイザナミの2人の神が生んだと古事記に記されています。お姫様にまつわる七不思議をめぐったり、海の幸を食べたり…。ここにはゆったりとした島時間が流れています。

お問い合わせは
✆0978-87-2279 姫島村役場 水産・観光商工課





おおいた姫島ジオパーク
瀬戸内海西部の周防灘に浮かぶ「姫島」を中心とした、海域を含む東西14km、南北6kmの区域で「火山が生み出した神秘の島」をテーマとしたジオパーク。島内には30万年前以降に活動した7つの火山があり、随所に火山岩や火山活動の痕跡がみられます。4つの小島が砂州でつながり、1つの島となった地形も姫島の特徴です。令和3年に「瀬戸内海姫島の海村景観」として国の重要文化的景観に選定されています。


姫島七不思議
姫島の名前の由来といわれるお姫様にまつわる言い伝えなどが語り継がれている。七不思議には、阿弥陀牡蠣、浮田、拍子水、かねつけ石、逆柳、浮洲、千人堂がある。


姫島庄屋古庄家（しょうやこしょうけ）
庄屋として姫島村を治めた、古庄家の屋敷。庭園や殿様を迎えた御成りの間など、庄屋の格式がうかがえる貴重な建物。


大海（おおみ）のコンボリュートラミナ
軟らかい地層が地震の揺れで流動化し、瓦屋根の断面のような模様に変形したもので、県の天然記念物に指定されている。

大分 旅を彩る 四季めぐり


たけた竹灯籠「竹楽」（竹田市）11月



元祖牛喰い絶叫大会（由布市）10月


日田祇園祭（日田市）7月


杵築天神祭り（杵築市）7月


チューリップフェスタ（豊後大野市）4月


大分七夕まつり（大分市）8月


天領日田おひなまつり（日田市）2～3月

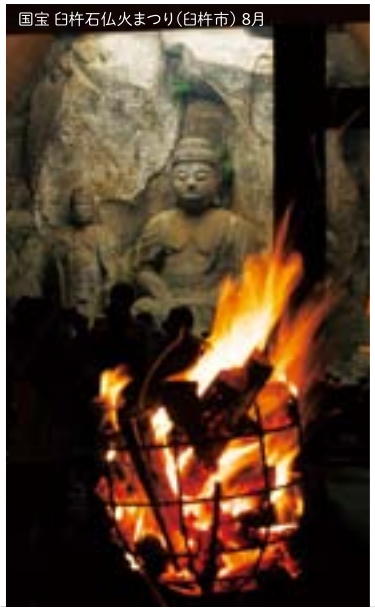

ケベス祭り（国東市）10月


ホーランエンヤ（豊後高田市）1月


べっぷクリスマスファンタジア（別府市）12月


姫島盆踊（姫島村）8月


津久見扇子踊り大会（津久見市）8月


国宝 臼杵石仏火まつり（臼杵市）8月


岡城桜まつり（竹田市）4月


日本童話祭（玖珠町）5月

3月

上旬
- 辻馬車開き（由布市）1日

2月

中旬
- 修正鬼会（豊後高田市・国東市）
- おひなまつり開催（県内各地）中旬～3月中
- 吉野梅まつり（大分市）中旬～3月上旬

1月

下旬
- ふぐフェスタ（大分市）下旬～2月上旬

上旬
- ホーランエンヤ（豊後高田市）

12月

下旬
- べっぷクリスマスファンタジア（別府市）23日・24日

11月

下旬
- 日田天領まつり・千年あかり（日田市）

中旬
- たけた竹灯籠「竹楽」第3金・土・日（竹田市）

上旬
- うすき竹宵（臼杵市）
- 津久見モイカフェスタ（津久見市）上旬～1月中旬

10月

下旬
- 御嶽流神楽大会（豊後大野市）

中旬
- 機関庫まつり（玖珠町）
- 姫島車えび祭（姫島村）
- 城下町杵築観月祭（杵築市）

上旬
- 小鹿田焼民陶祭（日田市）
- ケベス祭り（国東市）14日
- 元祖牛喰い絶叫大会（由布市）
- 東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り（佐伯市）上旬～11月下旬

9月

上旬
- 安心院フェア葡萄酒まつり（宇佐市）

8月

下旬
- 国宝 臼杵石仏火まつり（臼杵市）

中旬
- 姫島盆踊り（姫島村）14日・15日
- 津久見扇子踊り大会（津久見市）

上旬
- 大分七夕まつり（大分市）
- 天神祭り（杵築市）24日・25日

7月

下旬
- 中津祇園（中津市）
- 宇佐夏越祭り（宇佐市）

中旬
- 日田祇園祭（日田市）
- つくみ港まつり（津久見市）

上旬
- 臼杵祇園まつり（臼杵市）

6月

上旬
- くじゅう山開き（竹田市・九重町）第1日曜

5月

下旬
- 日田川開き観光祭（日田市）

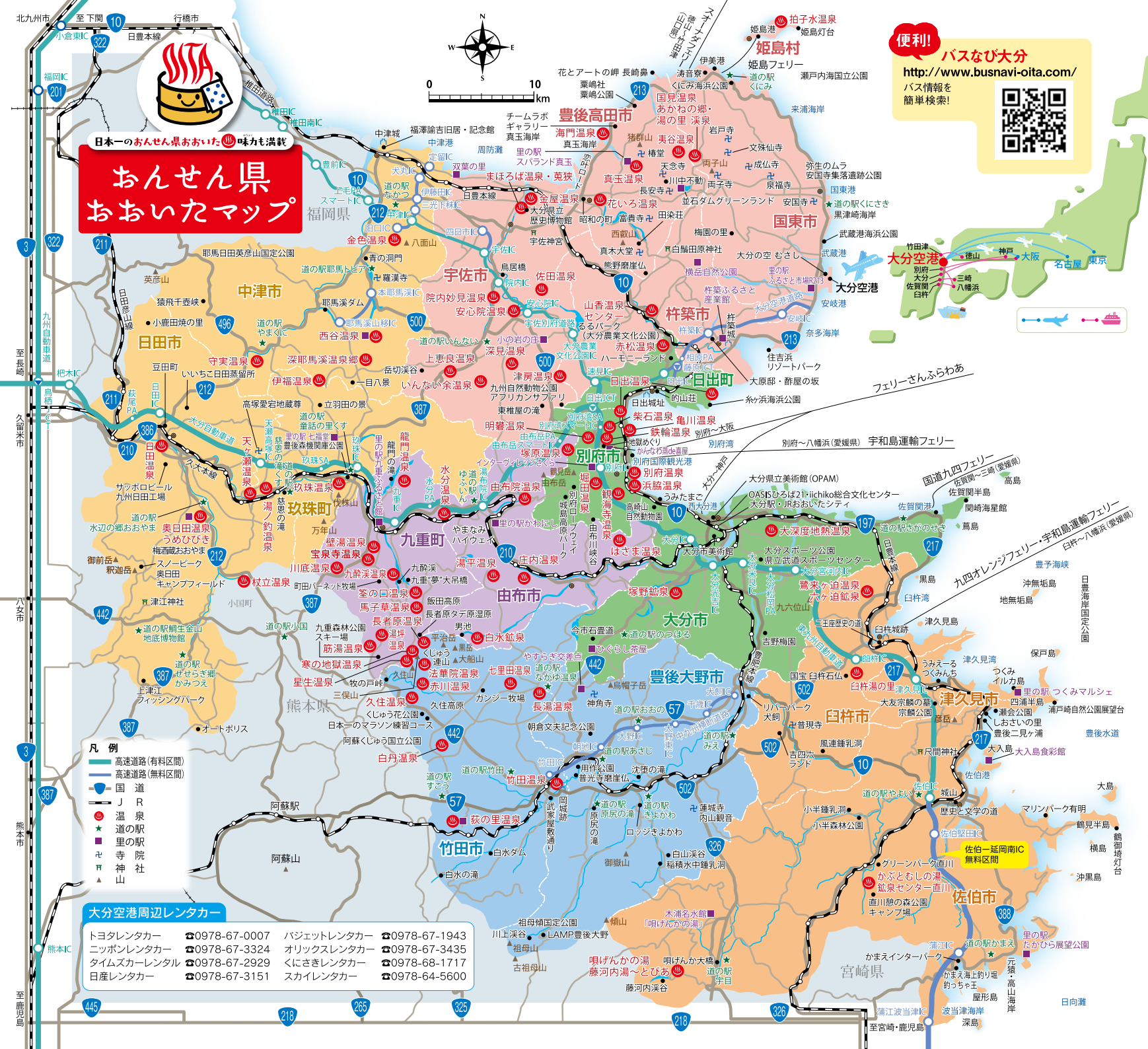
中旬
- 姫島おさかな祭（姫島村）

上旬
- 城下かれい祭り（日出町）
- 日本童話祭（玖珠町）5日
- きつきお城まつり（杵築市）5日・6日

4月

下旬
- 別府アルゲリッチ音楽祭（別府市）下旬～5月上旬

上旬
- 岡城桜まつり（竹田市）
- チューリップフェスタ（豊後大野市）



九州・おおいたは意外に近い!

●大分県へのアクセス●

飛行機で大分空港へ

路 線	所要時間	会社名
東 京(羽田)⇔大分	約90分	JAL・ANA・SNA
東 京(成田)⇔大分	約115分	JJP・APJ
大 阪(伊丹)⇔大分	約55分	JAL・ANA・IBEX
名古屋(中部)⇔大分	約70分	IBEX

●お問い合わせ先
JAL ☎0570-025-071
ANA ☎0570-029-222
SNA(ソラシドエア) ☎0570-037-283
IBEX ☎0570-057-489
JJP(ジェットスター) ☎0570-550-538
APJ(ピーチ) ☎0570-001-292

大分空港から県内各地へのアクセスバス

路 線	名 称	所要時間	会社名
空港⇔別府・大分	エアライナー	約50分～65分	大分交通
空港⇔湯布院	湯布院高速リムジンバス	約55分	大分交通 亀の井バス
空港⇔豊後高田⇔宇佐⇔中津	ノースライナー	約50分～110分	大交北部バス
空港⇔臼杵⇔佐伯	佐臼(サウス)ライナー	約90分～130分	大分交通 大分バス

●お問い合わせ先
大分交通新川バスセンター ☎097-534-7455
大分空港バス案内所 ☎0978-67-1198
亀の井バス由布院駅前バスセンター ☎0977-84-3145
大交北部バス中津営業所 ☎0979-22-0071
大分バス総合案内所 ☎097-532-7000

JR

路 線	所要時間
新大阪⇔大分	約3時間50分(新幹線・特急)
博多⇔大分	約2時間20分(特急)
小倉⇔大分	約1時間30分(特急)

●お問い合わせ先 JR九州案内センター ☎0570-04-1717

フェリー

路 線	所要時間	会社名
大阪⇔別府	約11時間50分	フェリーさんふらわあ
神戸⇔大分	約11時間20分	フェリーさんふらわあ
八幡浜⇔別府	約2時間50分	宇和島運輸フェリー
八幡浜⇔臼杵	約2時間25分	九四オレンジフェリー・宇和島運輸フェリー
徳山⇔竹田津	約2時間	スオーナダフェリー
三崎⇔佐賀関	約1時間10分	国道九四フェリー
伊美⇔姫島村	約20分	姫島村営フェリー

●お問い合わせ先
フェリーさんふらわあ ☎0120-56-3268
宇和島運輸フェリー ☎0894-22-2100
スオーナダフェリー ☎0834-34-3000
国道九四フェリー ☎0894-54-0173
九四オレンジフェリー ☎0894-22-5094
姫島村営フェリー ☎0978-87-2012

※便数は季節によって異なることがあります。また、時間は目安です。
詳細は各会社へお問い合わせください。

2022年3月現在

定期観光バス

主な観光地を一気に回りたいなら、
定期観光バスが便利！

景勝耶馬渓（やばけい）めぐり

奇岩奇峰で知られる景勝地・一目八景など、県下有数の名勝をめぐるコースです。


一目八景



国東半島（くにさき）史跡巡り

国宝の宇佐神宮本殿をはじめ、六郷満山の有名な社寺仏閣を巡ります。





ご予約・お問い合わせ
097-534-7455（大分交通 新川バスセンター）

別府地獄めぐり

おんせん県に来たなら、ぜひ「別府地獄めぐり」へ。
専用の青鬼バスで地獄を巡る定期観光バスを使えば、ラクラク便利に7つの地獄が楽しめます。



ご予約・お問い合わせ
0977-23-5170（亀の井バス 北浜バスセンター）

至れり・尽くせり 観光タクシー

大分県タクシー協会 検索



ココがお得！

- 1台あたりの定額料金
- 地元に詳しいドライバーがご案内
- 所要時間も多様

※入館料、飲食等には別途料金がかかります。

- 富くじ開運周遊ルート
- 臼杵史跡めぐりコース
- 九重"夢"大吊橋コース
- 由布院コース
- 竹田市内観光コース
- 秋の紅葉狩りコース など

充実の県内80コース以上！

長距離バス

※（）内は所要時間です。

福岡⇔大分…［とよのくに号］（約2時間25分）A B C D
長崎⇔大分…［サンライト号］（約4時間10分）A B E
熊本⇔大分…［やまびこ号］（約4時間5分）A F
京都・大阪・神戸⇔大分…［SORIN号］
・京都⇔大分…（約12時間20分）A G
・大阪⇔大分…（約10時間20分）A G
・神戸⇔大分…（約9時間30分）A G
福岡⇔由布院…［ゆふいん号］（約2時間20分）C

A 大分バス予約センター	097-536-3371
B 大分交通予約センター	097-536-3655
C 亀の井バス予約センター	0977-25-3220
D 九州高速バス予約センター	092-734-2727
E 長崎高速バス予約センター	095-823-6155
F 熊本高速バス予約センター	096-354-4845
G 近鉄高速バスセンター	0570-001-631

大分県の観光に関するお問合せは

日本一のおんせん県おおいた 味力（あじから）も満載

（公社）ツーリズムおおいた
〒870-0029　大分県大分市高砂町2-50 OASISひろば21 3F
TEL 097-536-6250

日本一のおんせん県 検索

大分県の観光情報 公式サイト
facebook おんせん県たびくらぶ
Twitter おんせん県たびくらぶ
Instagram おんせん県おおいた

※2022年3月現在